

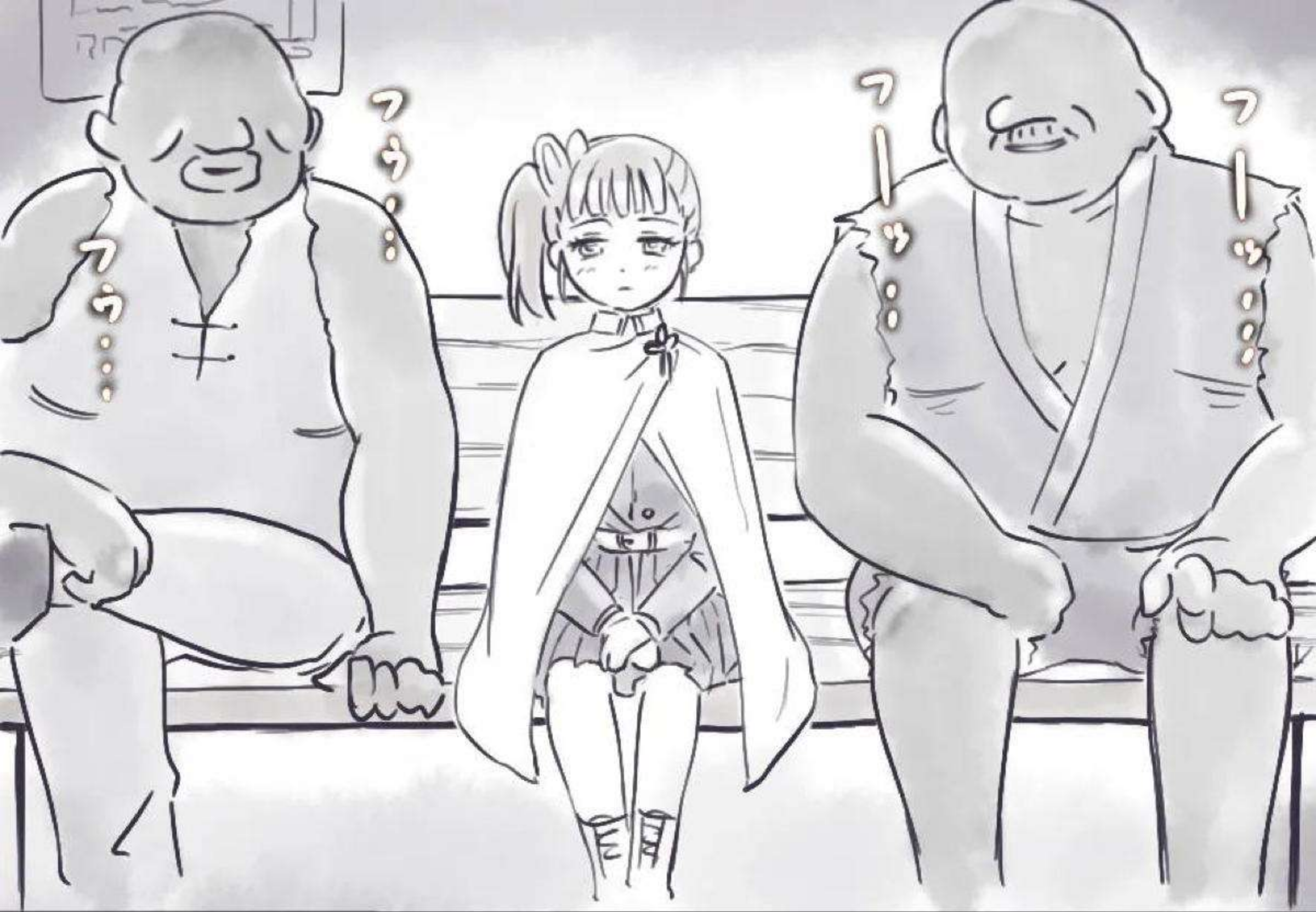
蜘蛛村の任務

前編









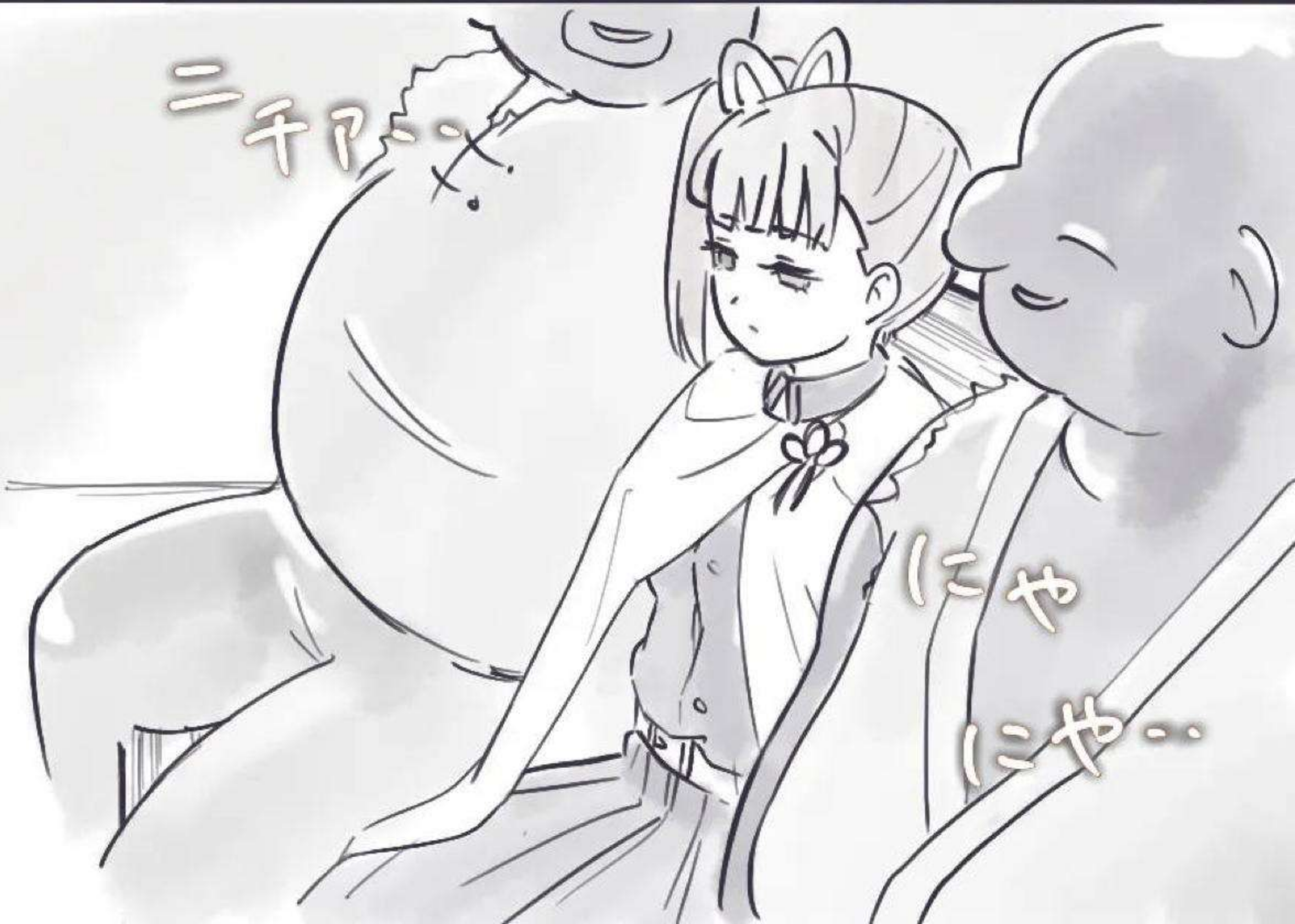
カアーツ
カアーツ
西の外れの村で少女を襲う
鬼の報告あり！
鬼殺隊「ひのと」栗花落カナヲ
同行の隊士を連れ至急調査に
迎え！ 鬼の生態は不明、
心して掛かれ！



…次のバスが来るまで2時間…
蚊疎村に着くのは真夜中になる
報告によると行方不明に
なっているのは5人…
…それも女の子ばかり
…急がないと



ニキア...



にや

にや...

見られ……

……ハグ……

ハグ……

ス……

……

ハグ

ハグ

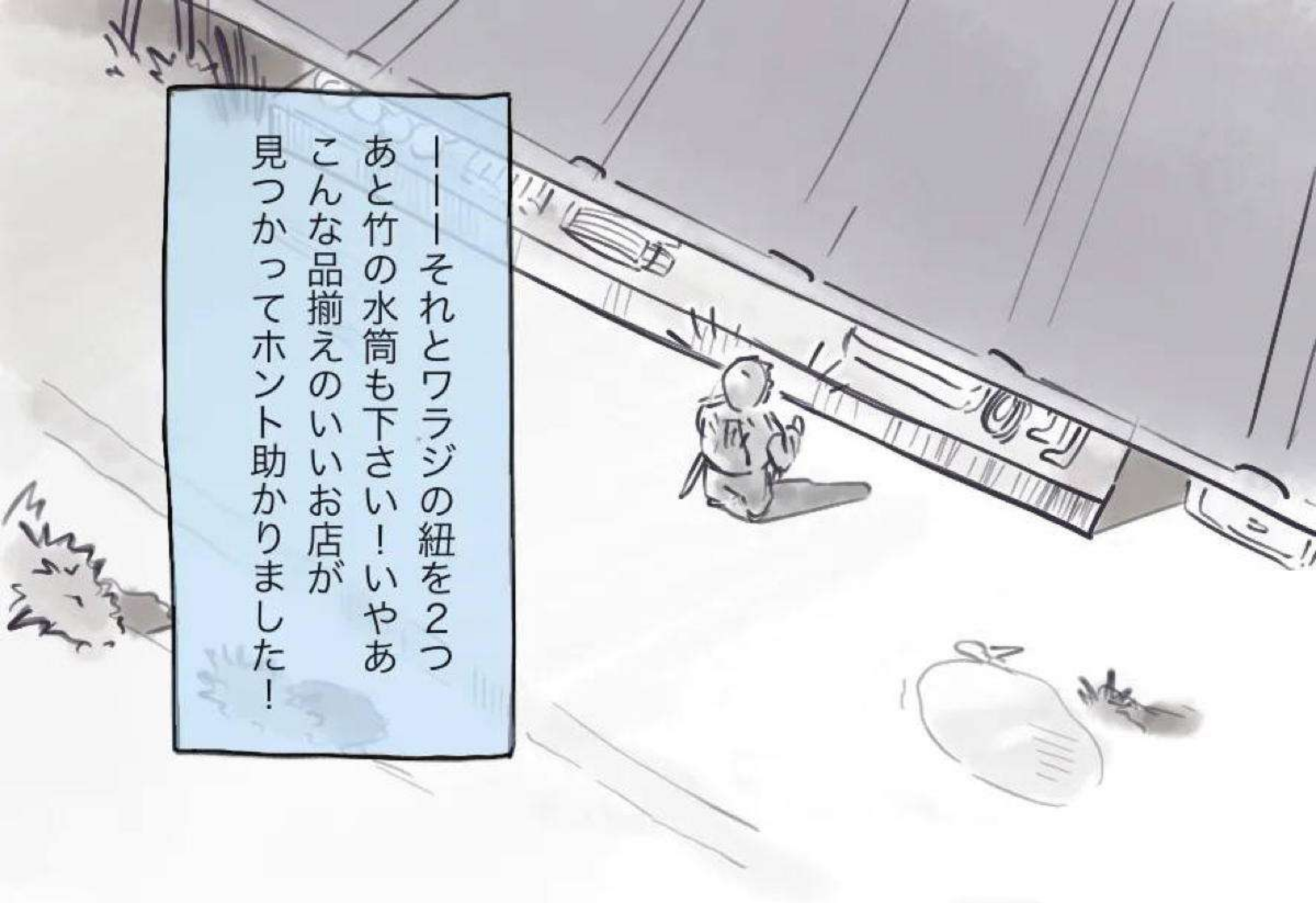
ハグ

ハグ

ハグ……

ハグ……

ハグ……



——それとワラジの紐を2つ
あと竹の水筒も下さい！いやあ
こんな品揃えのいいお店が
見つかってホント助かりました！



駅舎の方からずっと歩いて来た
んですよ、ホント時間までに
戻れなかったらどうしようかと…
あ！その干し芋もお願いします

あんた、ここらじゃ見ない顔だね
駅舎ってこたあ蚊疎村まで
いくのかね？

はい！

あの辺はいま鬼が出るって話で
もちきりだよ、
悪いこた言わねえからやめときな
なんだってあんな所に行くんだい

大丈夫です、

僕は鬼殺隊の任務で来ましたので

ええ!? あんた鬼狩りなのかい!?

そうです、と言いたいとこなんです
がもう一人連れの女の子がすごく強くて
僕はその子の補佐というか…
荷物持ちというか…(汗)

へえ すごいんだねえ

ここいらはまだ平穏なもんだけど
蚊疎村はどうなってることやら…
そんで、その女の子ってのは
あんたのコレかい？

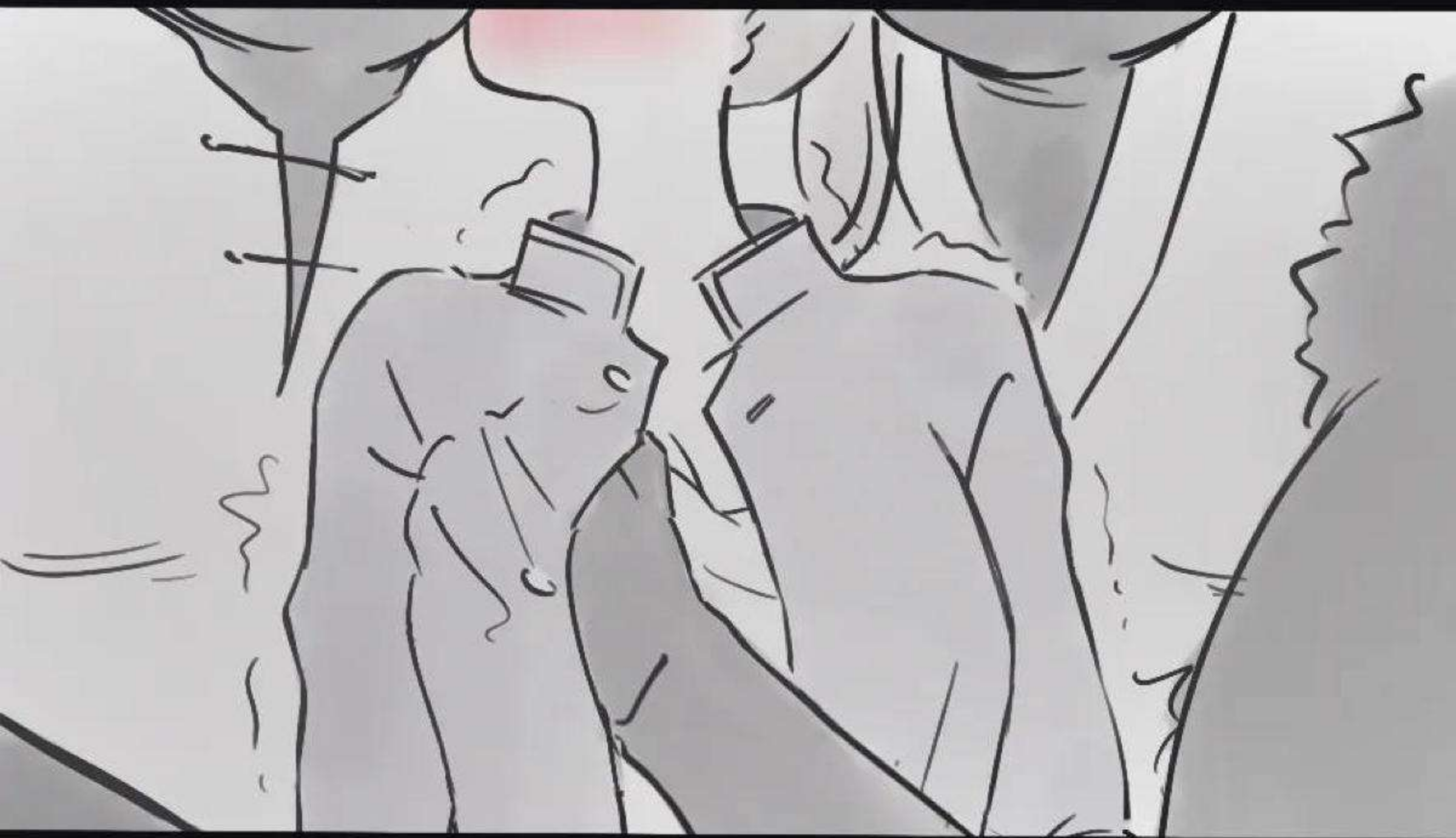
!? ちっちゃがいますよ!
いやえっと…違わないで欲しくも
ないというかその……

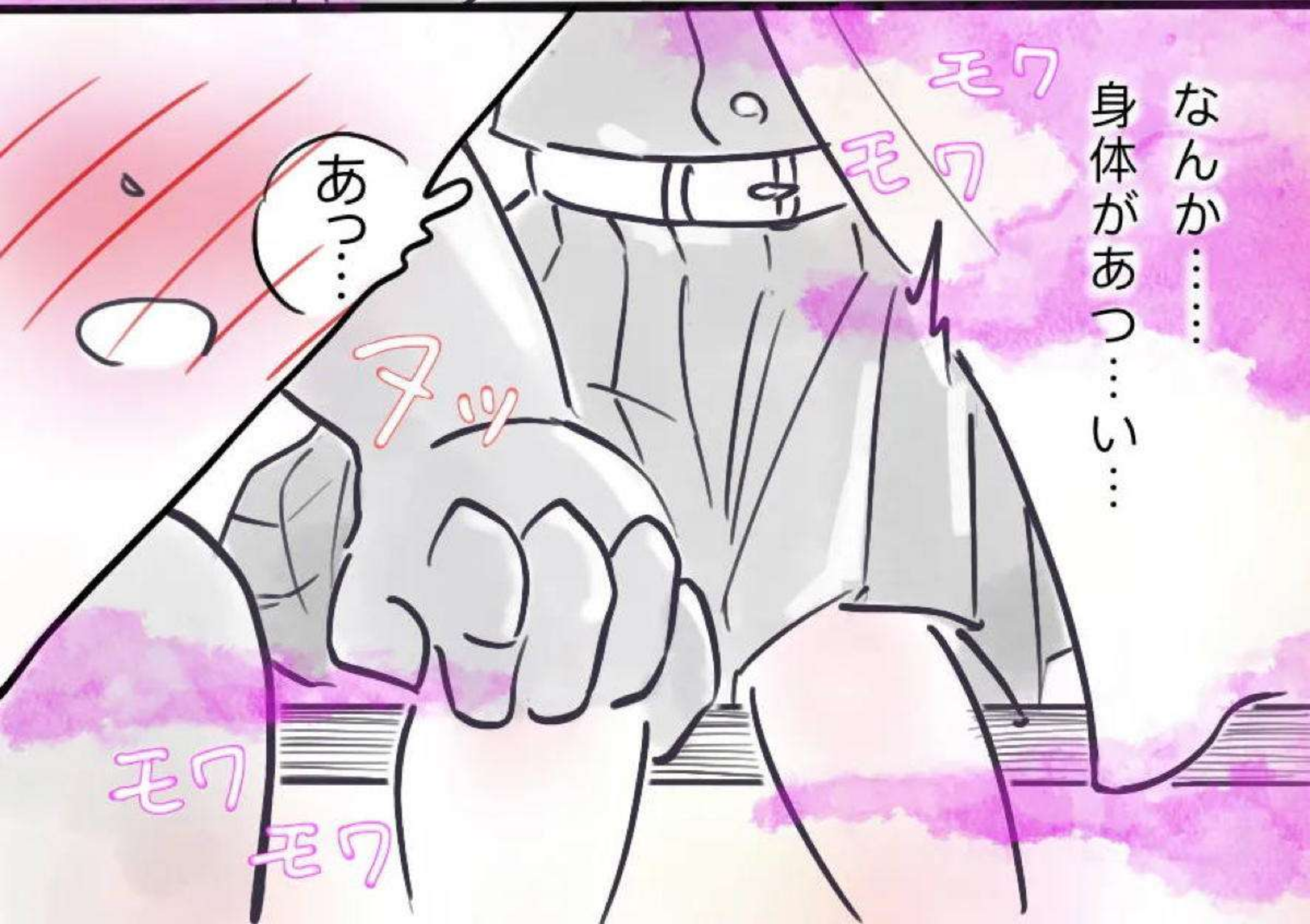
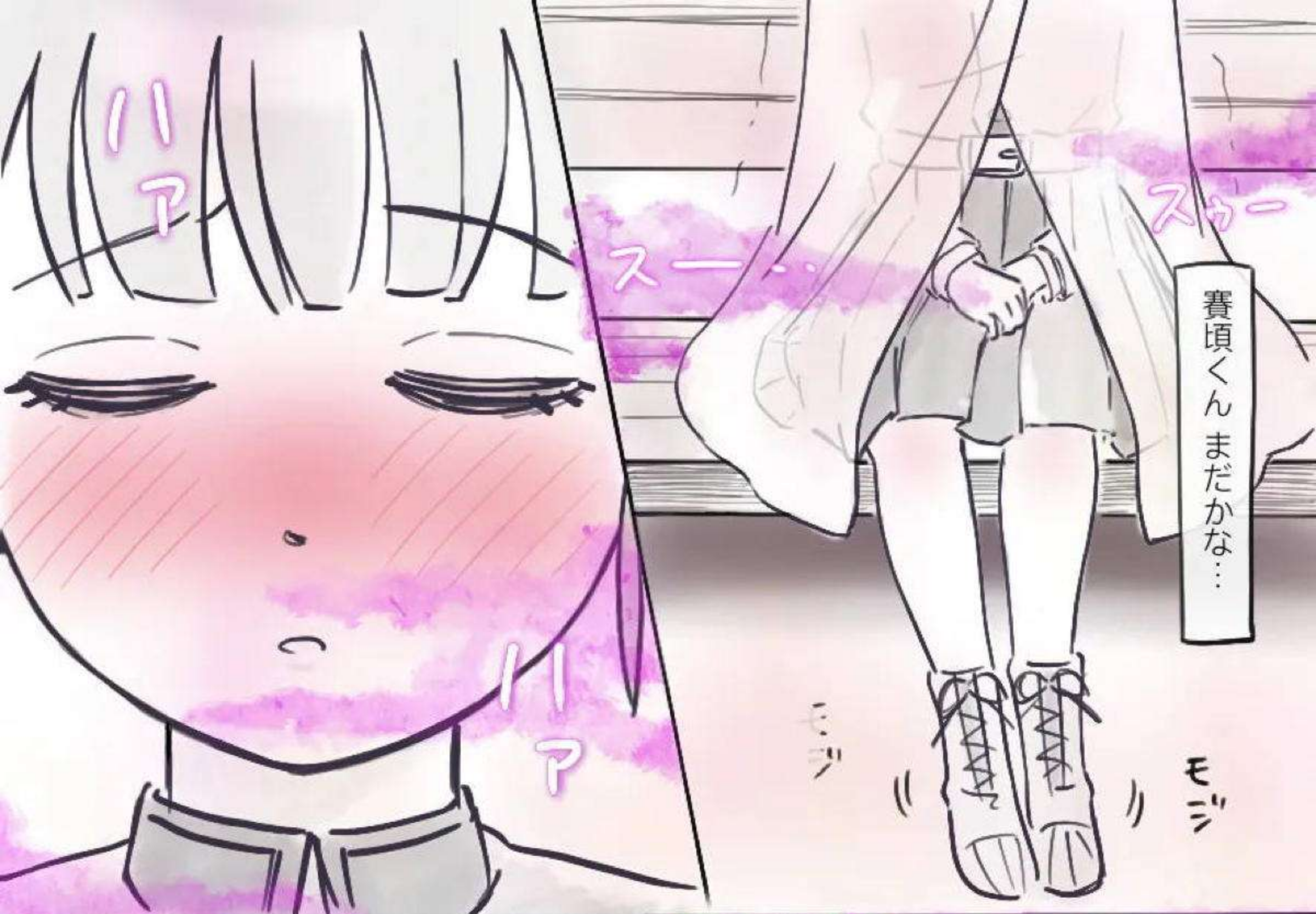
無人駅舎

売店からの距離
徒歩1時間

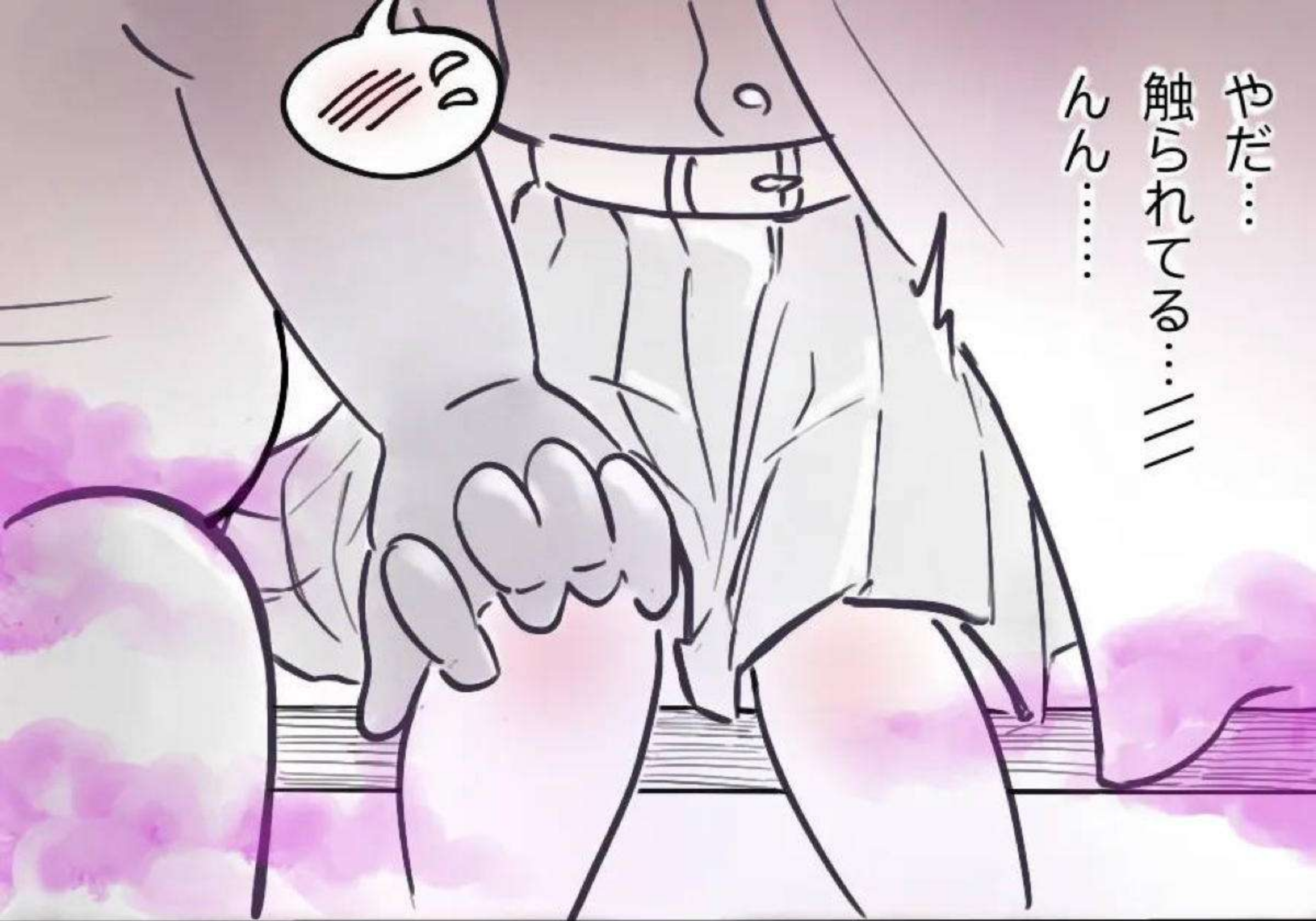


蚊疎村の任務





やだ…
触られてる…
んん…



どうし…て…?
急に…あっ…
触り…かた…



だめ…やめさせなきゃ…

はっ♡

はっ♡

あ、服…!!!

もみ♡

スッ

もみ♡

ぎゅあ♡

おじさんだめ…

そんなに強く揉んじゃ…!!!

んん…

ふあッ

はっ♡

はー♡

あ…♡

さわ♡

さわ♡

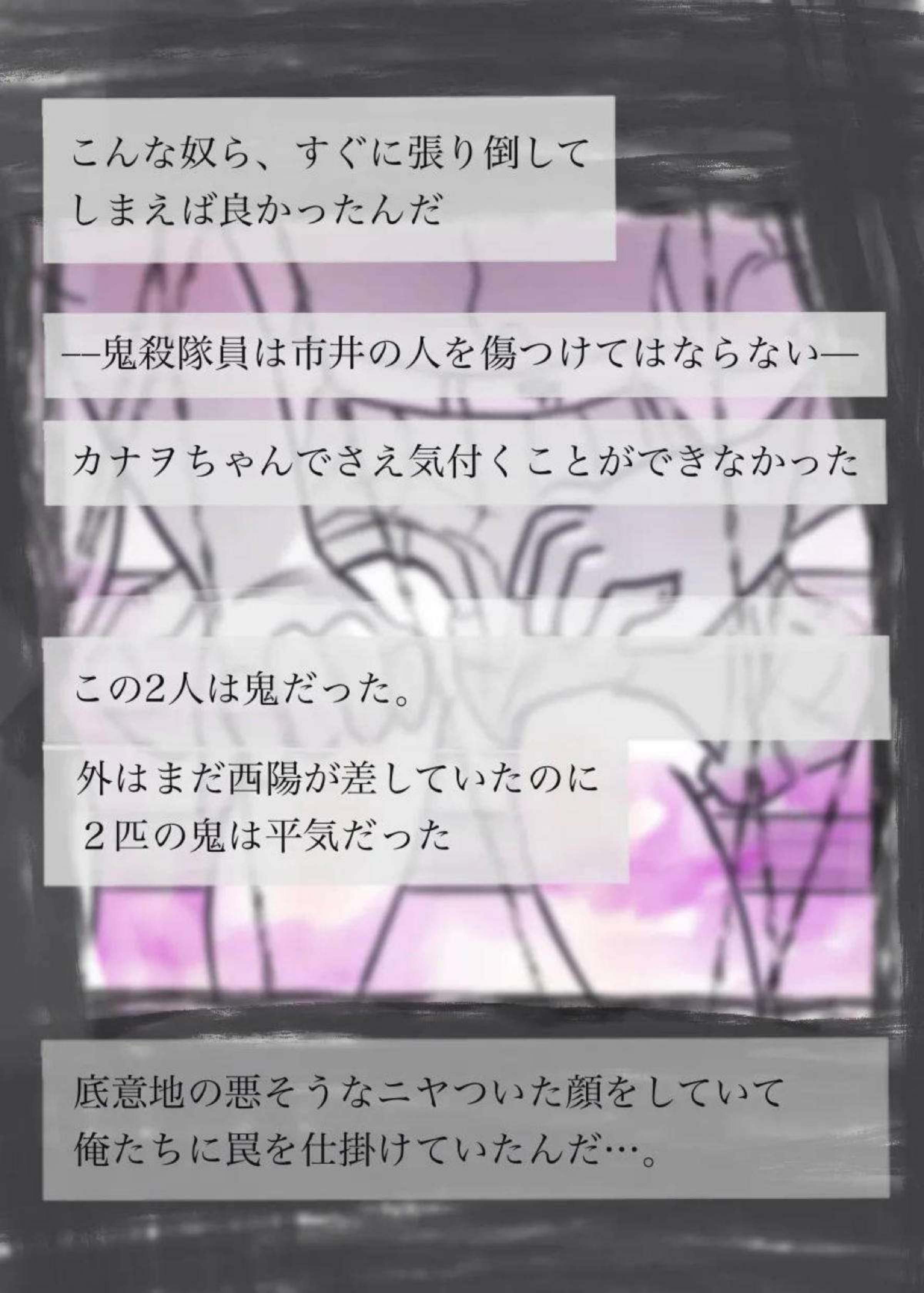
さす♡

ビクン!

ス

な…に 今の…

触られたとこゾワッて…



こんな奴ら、すぐに張り倒して
しまえば良かったんだ

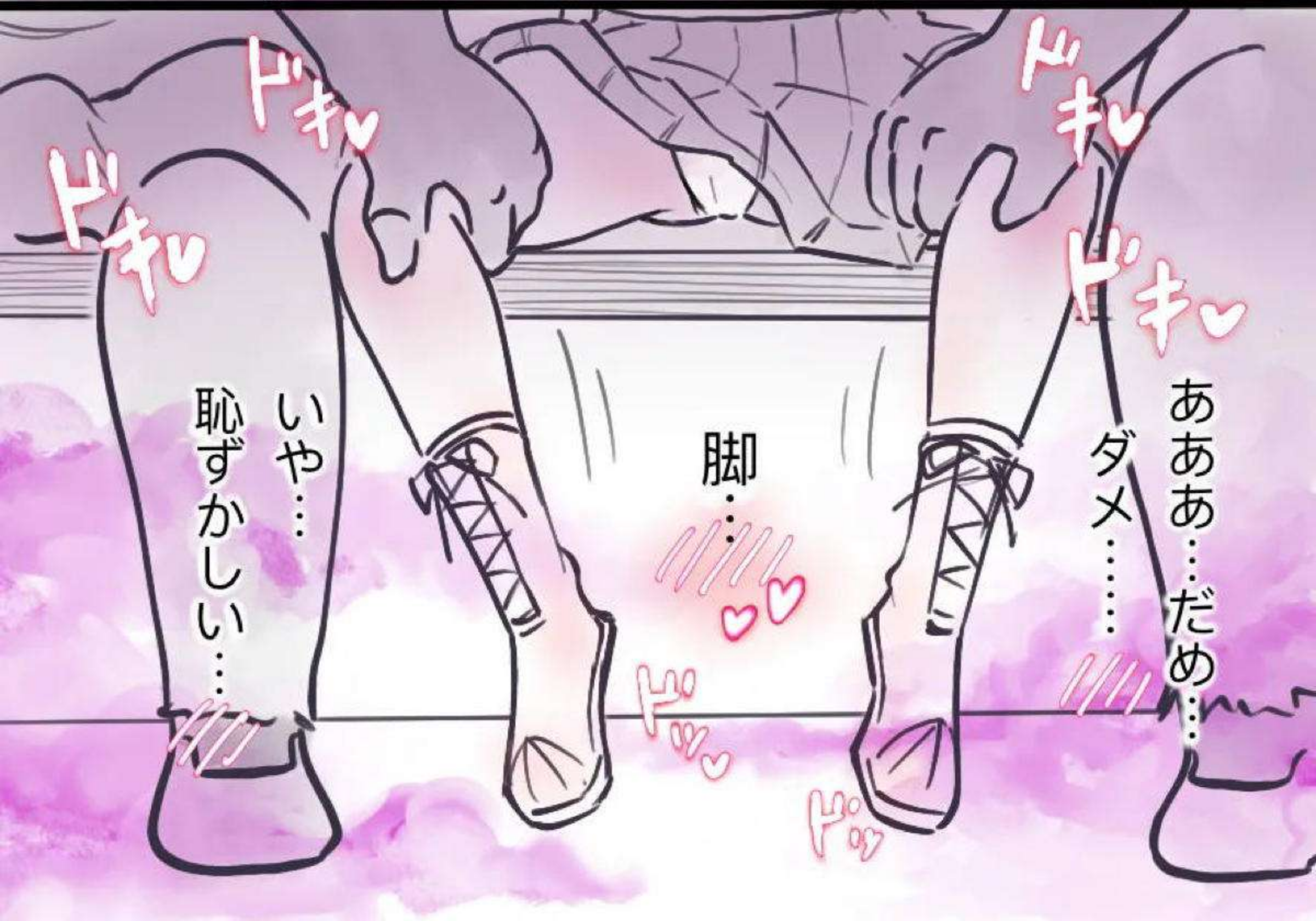
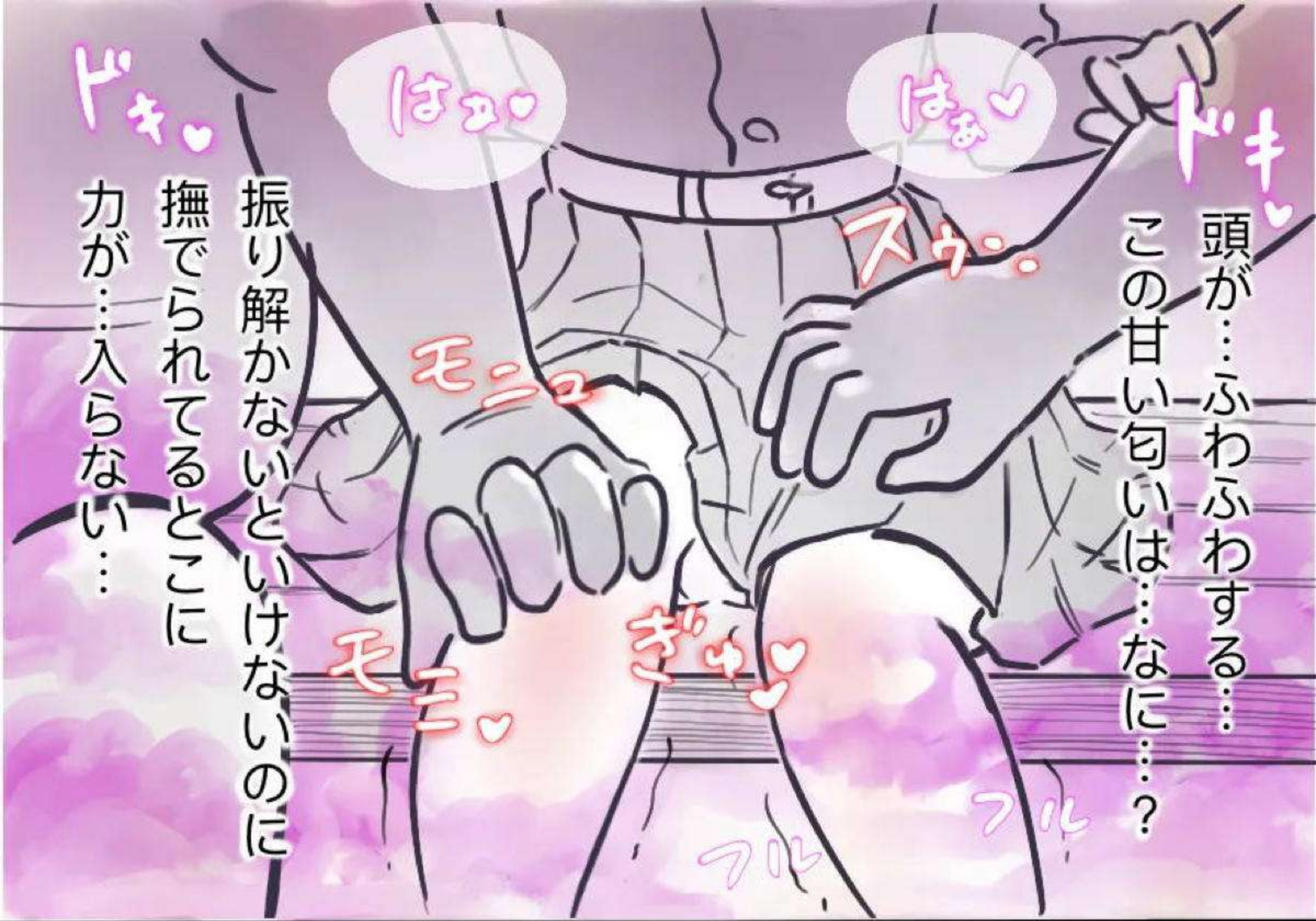
—鬼殺隊員は市井の人を傷つけてはならない—

カナヲちゃんですえ気付くことができなかった

この2人は鬼だった。

外はまだ西陽が差していたのに
2匹の鬼は平気だった

底意地の悪そうなニヤついた顔をしていて
俺たちに罠を仕掛けていたんだ…。



「決まったか？」

「へへへ、ばっちりだ」

な……に……？

トロ……

ドキ♡

「おお？抵抗しようとしてるぞ」

「フへへ、さすが鬼殺隊ってところか」

鬼血……術……

この感じ……

……お……に……？

ドキ♡

ドキ♡

ドキ♡

「無理無理、カナヲちゃんでも手遅れってやつだ」

ずっと狙ってたからに
決まってるだろう？

な…まえ…
どう…し…て

スー…ハアア
カナヲちゃんすげえ良い匂い♡

あっ♡

そーっ

ふう

ふう…

ビクッ

おほ♡柔らか♡
おい、無傷で連れてこいと
言われてるぞ？

あっしん♡

ハア...

もみ♡

もみ♡

くに♡

ハア♡

んくっ♡
あ♡

ワシの術の効き具合を

確かめてるんだ

フホホ♡ もう身体が震えとるのう

ほオラ抵抗せんと

大変なことになるぞお？

ぎゅう♡

ふに♡

ああ♡
あ♡
あ♡

ピク♡

ピク♡

へへ、反応は悪くねえな

まあ、あれだけオレの淫毒を
吸い込めば当然だがな

ツハアツハア
もう我慢できんッ

それもそうだな、味見だ味見♡

今の…すご…いい♡
ビリッで…電気が流れた
みたい…♡

オラ顔こっち向けろ

ハアハア
カナヲちゃん…の任務目録を
手に入れてからちんぽ
バキバキだわい

(んんっ!?)

(うそっ…キスだめ…っ)

(やだ…んむっ…♡)

すいっ♡

チュ♡

ぢゅるっ♡

パチ

パチ

フハハハ
お前も貪つとるじゃないか

ぢゅんじゅん

ぢゅんじゅん

しゅん

しゅん

ちゅん

連れのガキが二匹いたのう
術が定着するまでしばらく掛かる、
あんな雑魚でも合流されると厄介
だわい、

ヌッ

ハッ

ンチュ

ハッ
ハッ
ハッ

この雌ガキの強さは半端じゃ
ないからの、念入りに…

おやあ？ カナヲちゃん♡
どうしたのこんなビンビンにして♡

ツク

んんん

ピク

フリ

もみ

フリ

ぢゅん

跳ねとる跳ねとる♡
ほらここツネられると身体
トロけるだろう？

よし、もうじき陽も落ちる
いつものあばら屋に運んで
ワシらが何なのかたっぷり教えて
やるとするかのう♡

39
あっ♡

はあーっ♡
はあーっ♡
はあー♡♡あ♡それ♡
だめえ…はっ♡ん♡

はっ♡

はっ♡

ゴリゴリ♡

もぞ♡もぞ♡

ぷハアこの娘すげえイイわ。
しこたま可愛がつてやるからな

オラ、呼吸整えたらもう一回舌出せ。

（賽…頃…く…）
（…ん♡ん♡…♡）

ピク♡

ちゅ♡

ぢゅ♡

ゴリ♡

ぢゅむ♡

ちゅ♡

もみ♡

く♡

ん♡

ピク♡

蚊疎村の任務





ふう……

なんとか時間までに戻れそうだ

栗花落さん退屈してるだろうな

人が寄り付かなくなった村…か

鬼殺隊の遠征地としては
たぶん初めて行く地域だ…

夜道注意



失踪しているのは女の子ばかり

まだこの辺りは安全だって

店屋のオヤジさんは言ってたけど

少しも気を緩めちゃダメだ



夜道注意



階級はずっと下だし
俺はただのサポートなのかもしれ
ないけど…

俺にできることなら何だってやっ
てやる…！



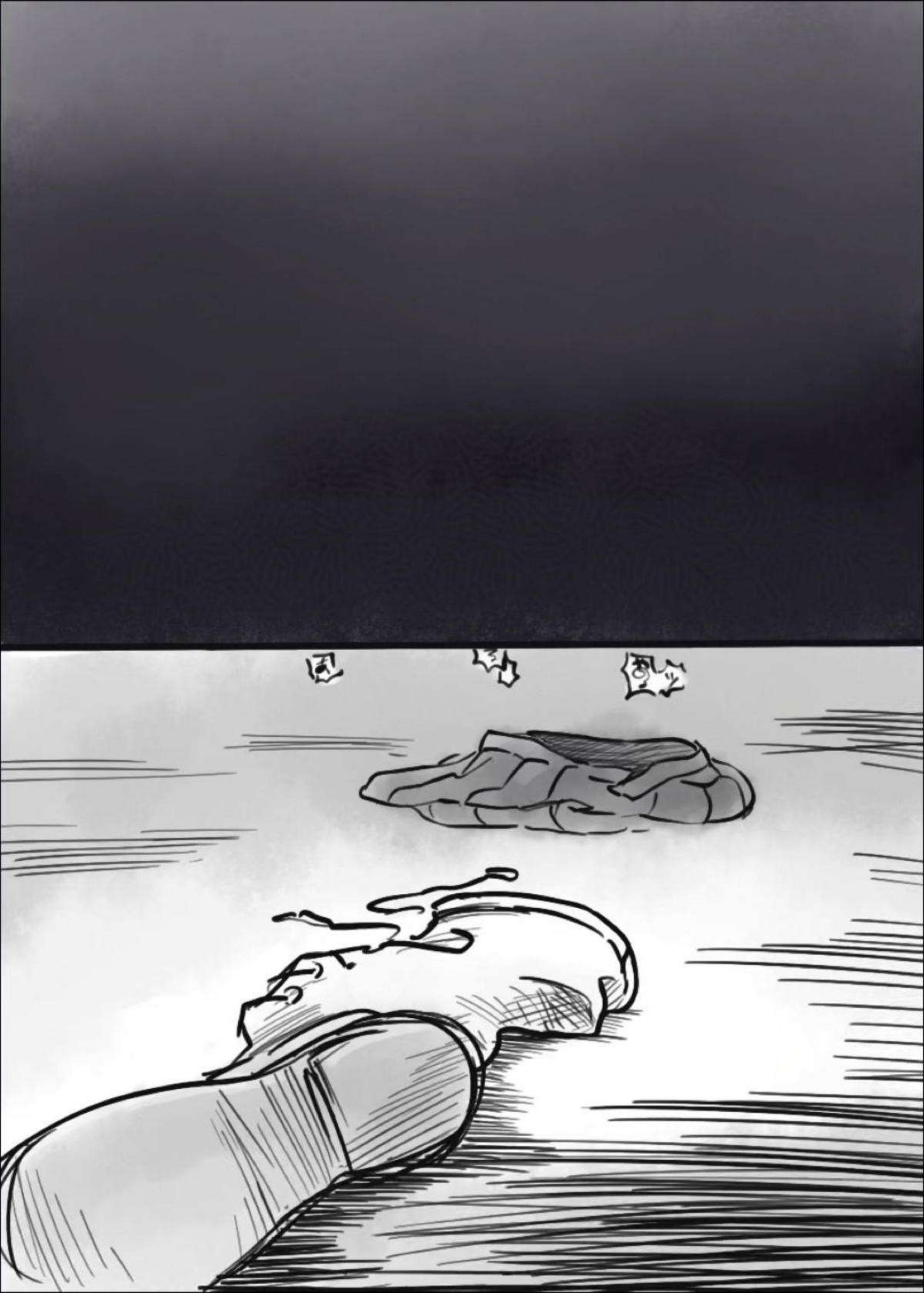
カナヲちゃんは女の子だし…
どこか…ほんわかしてるって言
うか…
その…か……可愛いし…



でもああ見えて強いんだよなあ…
身体付きとかすげー華奢な感じ
なんだけど その…
胸とかは…けっこう……
ってイヤイヤ!?



危険な任務なんだぞ！
しっかりしろ！
……
でもさ……よく考えたら……
2人旅なわけで……
もしかしたら…ほんのちよっとは
そういう事とか…その□&!%△の／ゝ……



ほれほれ

もつとエロ声出しても良いぞい
カナヲちゃんとワシらだけだからの♡

れろ、
れろ、

ザッ
ザッ

ちゅぽ
ちゅぽ

ちゅぽ

耐えとるのうゝ

こういう恥ずかしい格好
したことないじやろ？

ぎゅう...

やめてッ

あゝ

だめッ

はん♡
ん♡
♡

ネ、チ...

ちゅぽ♡
ちゅぽ♡
♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡
れろ♡
れろ♡

れろ♡

ちゅぽ♡

ちゅぽ♡

へっへへ
二重催淫食らっとりんだ
足握られてるだけで気持ち良いだろ？

下着べっとり♡
ぷっくり土手高ってやつだな
綺麗なピンク色が
透けて見えてんぞ

はあハア……
おい早くめくって見せろ
わかってるって！

ふん♡
ふん♡

ふん♡
ふん♡

おッほ♡
なんだこのネバっこいの♡

ガチのマン汁じゃねーか！
こんなべっとり
張り付かせやがってよ

へへへ
パンツ捲られただけで身体
ビクつかせてたらこの先もたねえぞ？

ニヤニヤ

ビクッ♡

にゅあ♡

にゅあ♡





ほーら
逃げない逃げない♡

ニャ...

♡♡

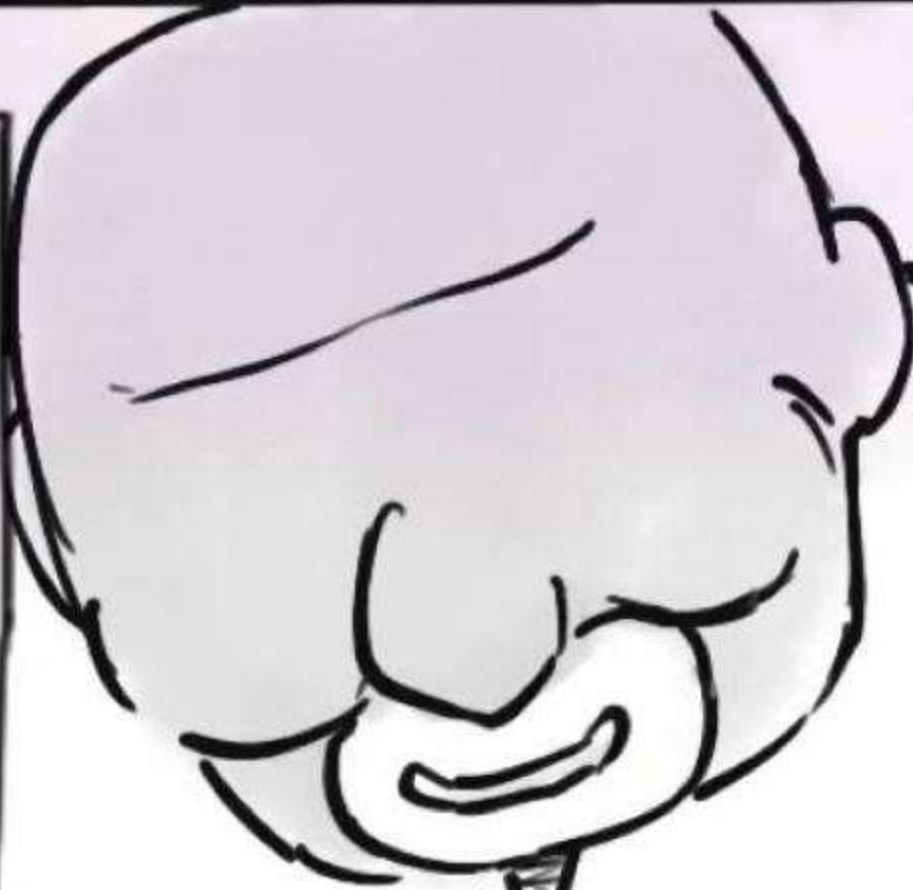
♡♡

ちゅ♡

ちゅ♡

ちゅ♡

おホ!! 来た来た♡
カナヲちゃん初イキ
GET♡



ちゅ

ビッ

ビッ

♡♡





カナヲちゃん乱暴にされてる
時の方が声出るんだのう♡

くりゅ♡

くっ!!

くりゅ♡

ぢゅ♡
ぢゅ♡
ぢゅ♡
ぢゅ♡

ぢゅ♡
ぢゅ♡

継子か何か知らんが
ちよつとエロ豆ねぶられたくらいで
アへりやがって

だめ♡

ぢゅ♡
♡!!

ぢゅ♡
♡!!

いいじゃないか♡
ほらカナヲちゃんのエロいところ
どんどん晒してこ♡



はあハア…クリ豆が可愛すぎて
夢中になってしまおうたわい

ねと

膜を頂けんのは残念だが
馬羅鬼さまに言われとるからな

ヒクッ

ヒクッ

他にも弱点がないか
探しておかんととう

ムホホ♡ ネバ汁べつとり

ムホホ♡

ムニッ



ほーらちよつとずつ開いていくぞお
：おオ♡
せつま♡

くは...♡

あッヤ♡

フー♡

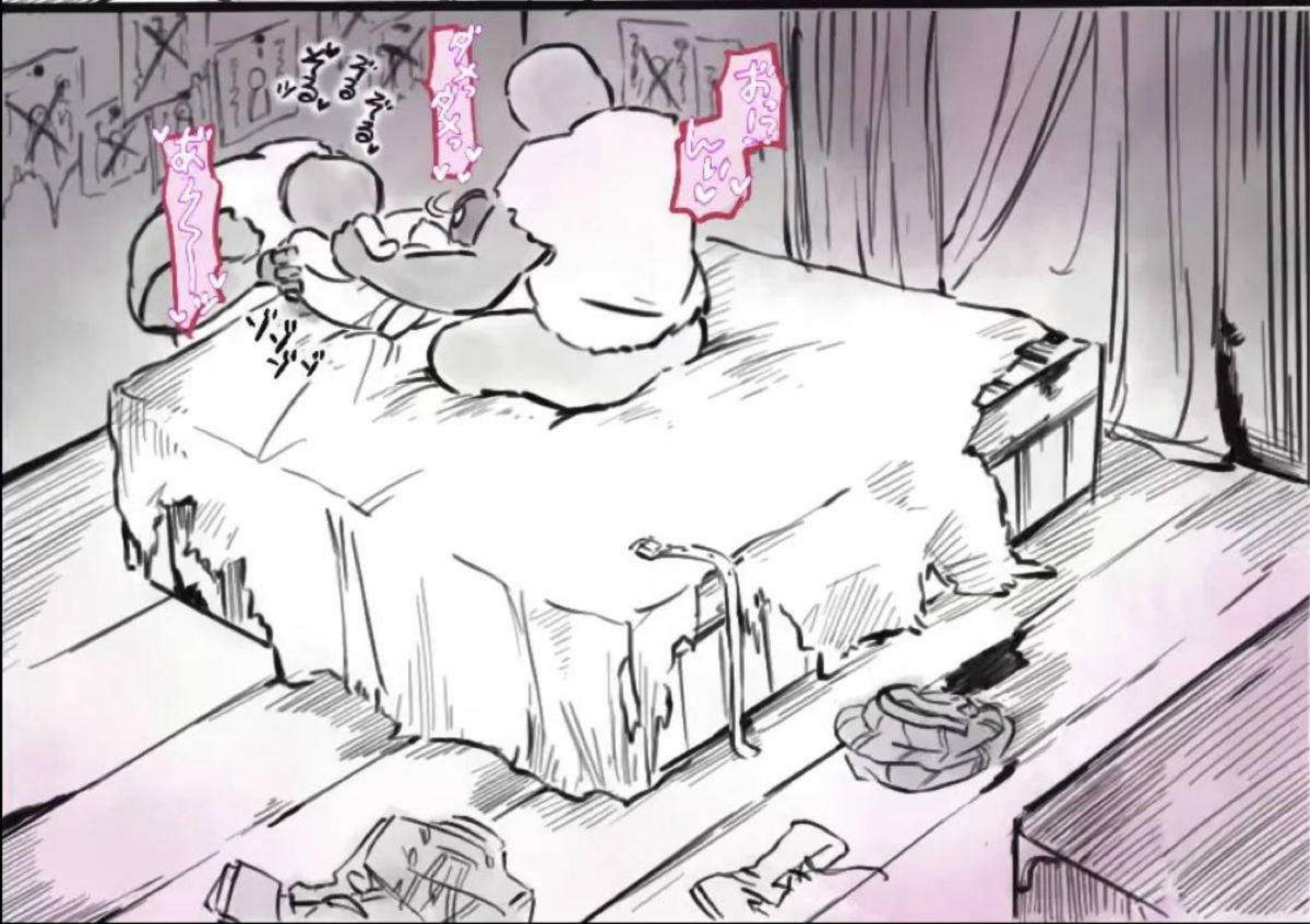
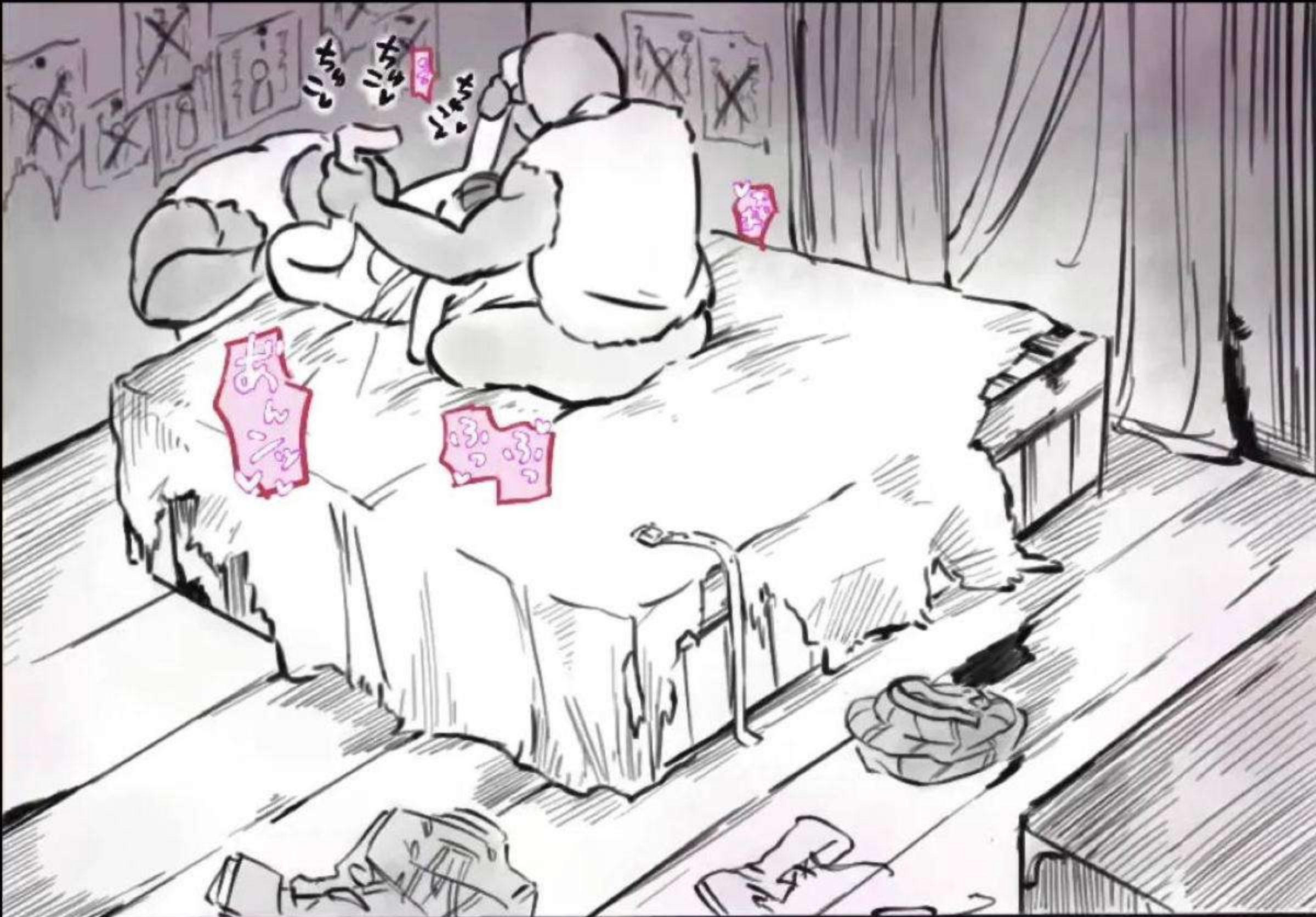
フー♡

優しく行くからね
しっかり呼吸使って
すぐにアへつちやダメだよ

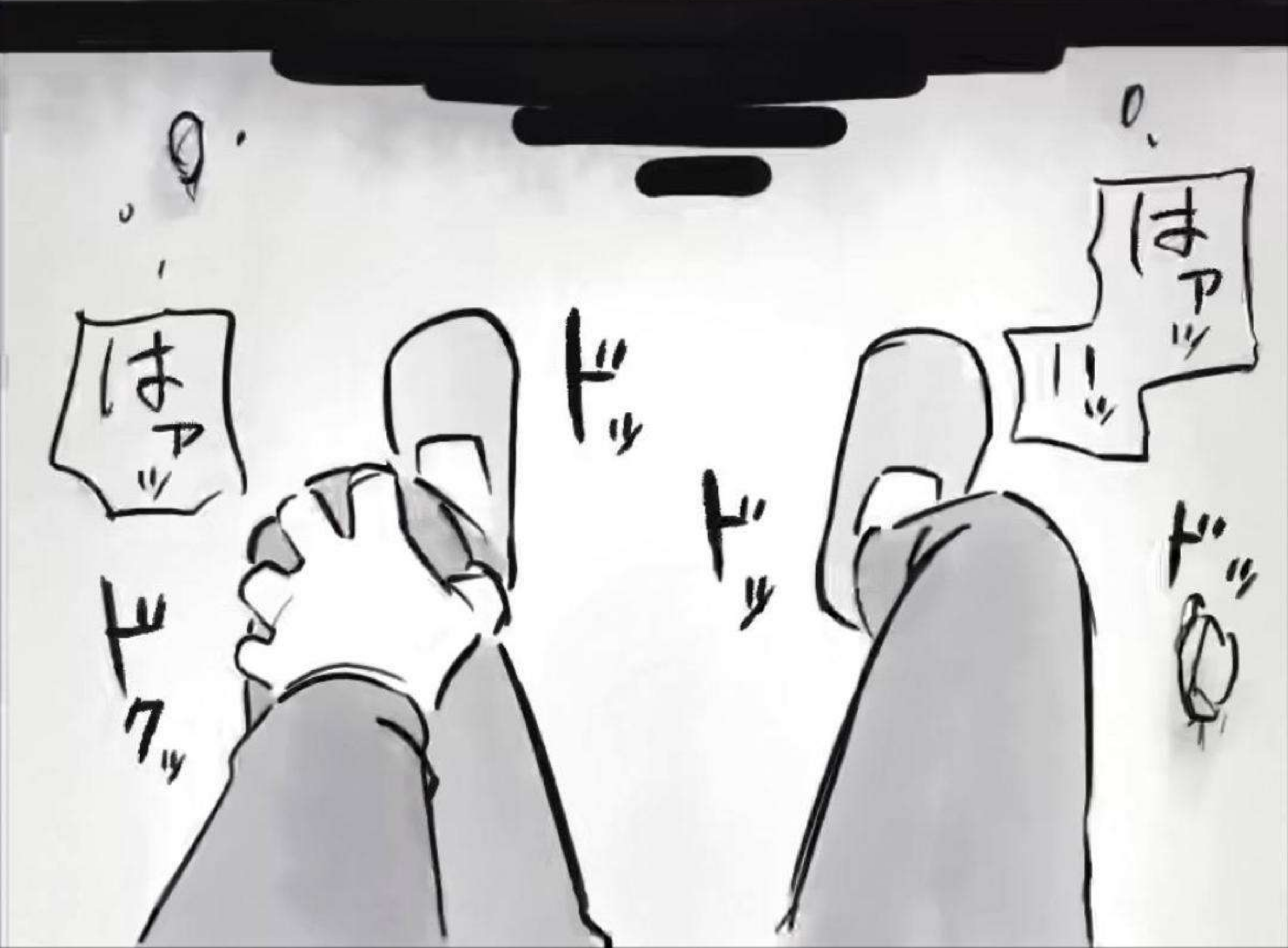
ん♡

あぁ♡

アッ♡







ハアッ…ハアッ…
おかしい…ハッ…
どこにも…いない…ッ

ッ………!

陽も完全に落ちてしまったし
定刻のバスも行ってしまった…

落ち着け…!
ここには何か争ったような
形跡はなかった

鬼が出たのか!?
いや…外は陽が出ていたし…

だめだ…弱気になるな…

でも…きつと
何かあったんだ…

ふじつちの...
俺一人...

俺一人...

もう一度探せば...

果たはれぬ...

大丈夫...
大丈夫だ...

イクイクイクイク!!!

あッあッあッ

まだイキまじゅババ!



教えた通りにイクと
たまんねーだろ？

は

は

ナ
デ

ナ
デ

ちゅ
♡

ちゅ
♡

ったく
連れのガキにこんな白濁した
エロ汁噴射したら
ドン引きされちまうぞ♡

ベロ出し仰け反りアクメ
キめて痙攣してるカナヲちゃんの
顔エツロ…♡

は

うっ
♡
うっ
♡

この雌ガキ
大人しそうな振りしてるだけで
根っこはスケベマゾだな♡

!?
♡
♡
♡

へへへ♥いちいち
反応すんの可愛すぎだろ♥

オラ顔こつち向けろ

いっ...

いっ...
いっ...
いっ...

いっ...
いっ...

いっ...
いっ...

いっ...

いっ...
いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

いっ...

～出発前～

荷物持ち



…す… けて…

だれ…か…

女の子の声が…聞こえる
栗花落…さん…??

いや違う…もっと細くて
…小さな…声…——

君は…?

この声はどこから…

な…何だ?

やめろ!
その娘から
離れろ…!
クソッ身体が
動かせない…!!

スト…

スト…

何が起きてるんだ

村の娘なのか？
どこかで襲われて
いるのか？

はあ...

はあ...

ちゅ...

ちゅ...

くっ...よせ...!!

おん...

しゅ...

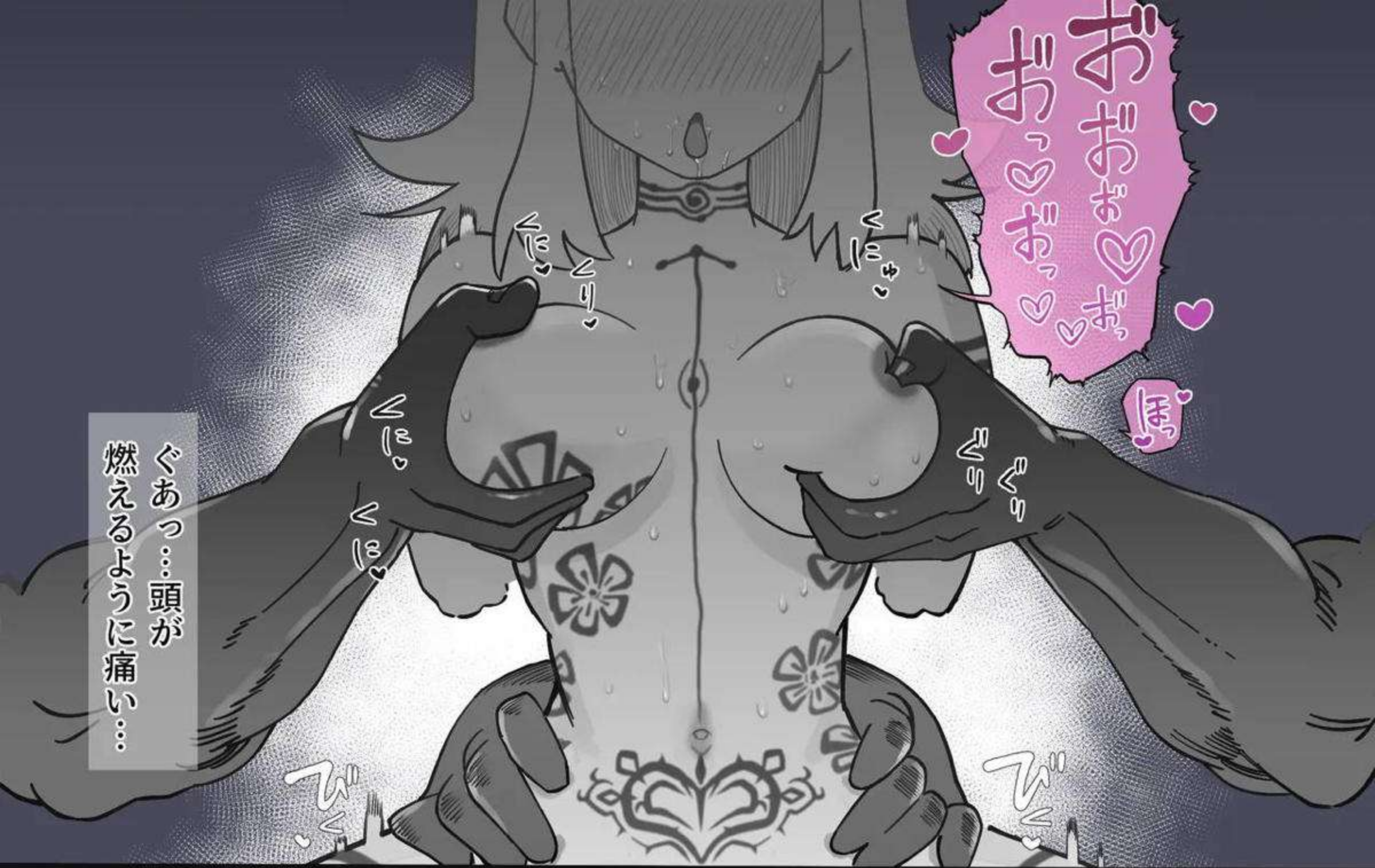
ちゅ...

ちゅ...

くっ...
くっ...
くっ...

くっ...
くっ...
くっ...

ッ
!?









いつまで寝とる
んだ坊主

もうじき駅車
が来るでな

そこに寝転がられる
と困るんだわ

えっ...!?

ガサ
ガサ

ガサッ



な...なんだ
この人...

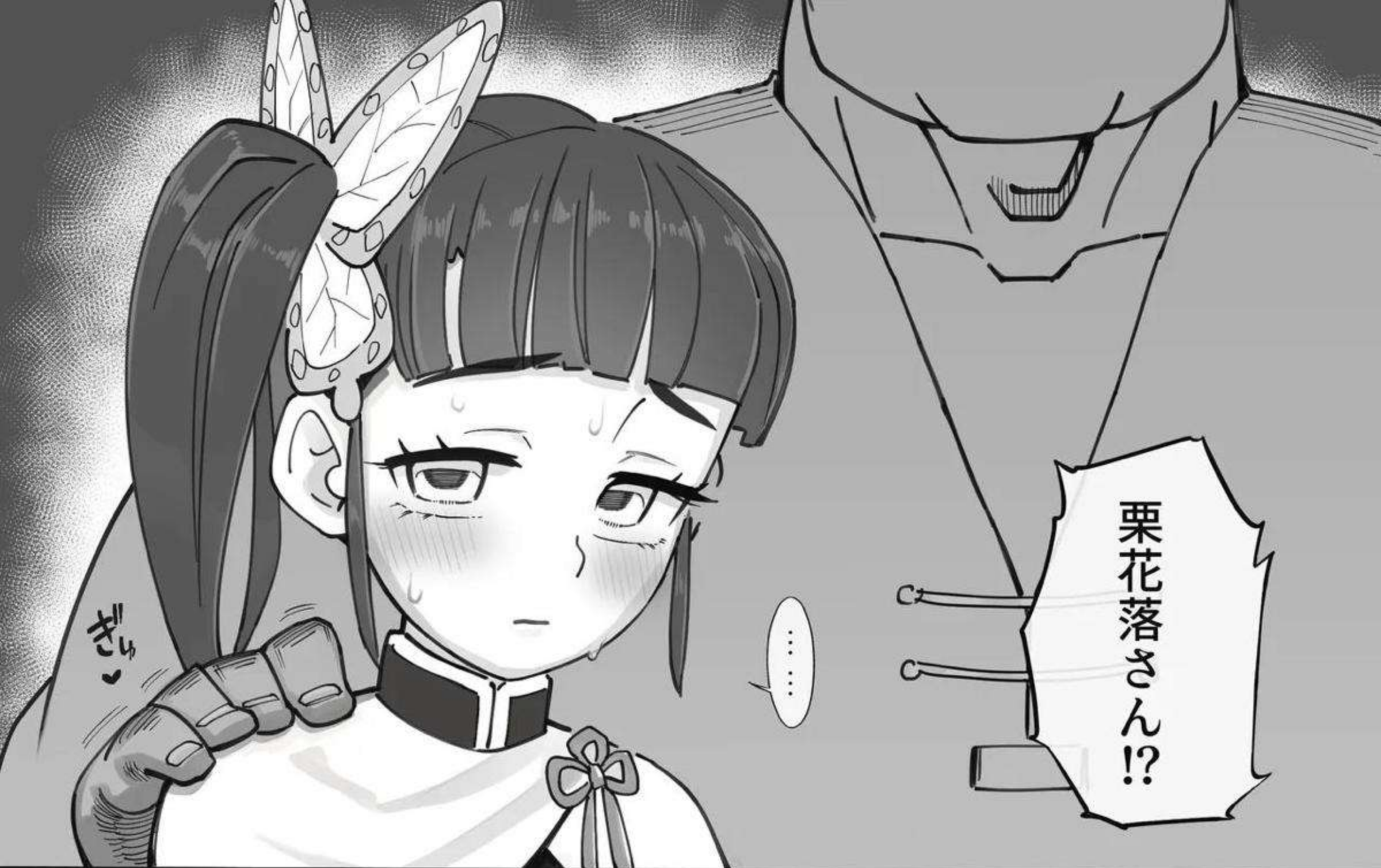
身なりは農夫の
ようだけど...
この近くに
村なんてあったっけ...?

フ
ラ

フ
ラ

.....
頭が重い
昨夜はほとんど
眠れてない気がする...





栗花落さん!?

朝方
栗花落さんは見知らぬ
2人の男に連れ添われて
停留所に戻ってきた

僕は混乱した頭と
晴れない眠気の中で
男が話しかけてくるのを
聞いていた…

君は夕刻の買出しに
行って留守にしてたん
だってね？

ワシらはたまたま
駅舎の近くで倒れてた
カナヲちゃんを
見つけてね

この辺りは夜が
冷え込むから
ワシらの使つとる
あばら屋で介抱
しとったんだ

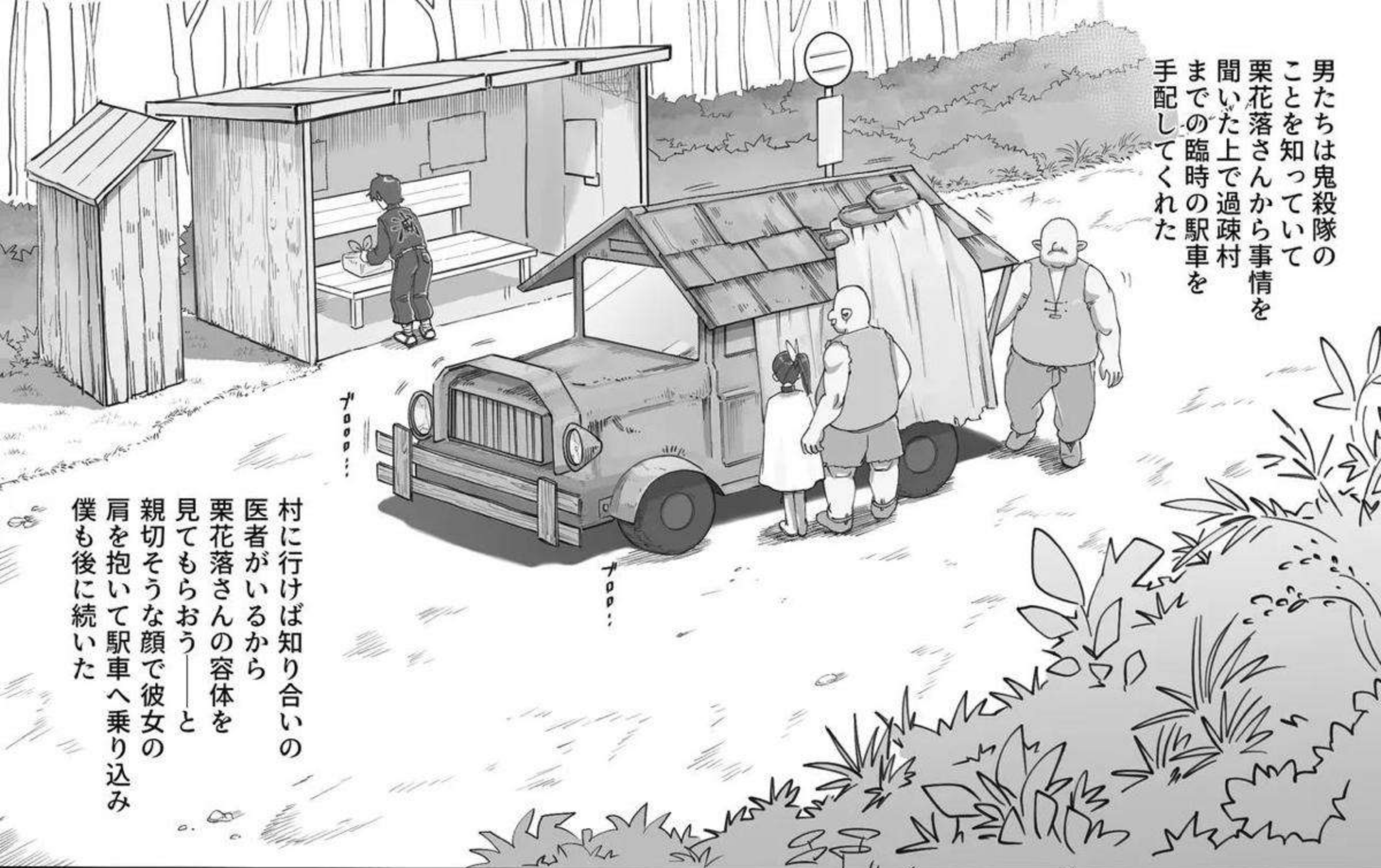
カナヲちゃんも
君のこと心配
しとったんだぞお
ここは寒かったろ？
よう耐えたなア――

………
栗花落さんが倒れてた…？

ひとまず外傷は無さそうだけど
僕がいない間に何かあったのか…？
というかなんで名前で呼んでるんだ？
一晩…この人達と一緒にいたのか…？

…どうして栗花落さんは何も話さないんだ――

男たちは鬼殺隊の
ことを知っていて
栗花落さんから事情を
聞いた上で過疎村
までの臨時の駅車を
手配してくれた



村に行けば知り合いの
医者がいるから
栗花落さんの容体を
見てもらおう——と
親切そうな顔で彼女の
肩を抱いて駅車へ乗り込み
僕も後に続いた

フラつきながら荷物を
整え身支度をする



予定していた任務の工程から
外れてきていることが不安だ...

栗花落さんは深刻な容体では
ないものの発熱と手足の
痺れが続いているようで
身体を休めるために
広い後部席に案内された

ガタン…

前部席とはガラス張りの
頑丈そうな厚い枠で
仕切られている
変わった造りをしてるな…

ガタン

昨夜 雨が振っていたのか
舗装されていない道を走る
バスの車内はガタガタと
強く揺れる…

ガタッ



この運転手も含めた
男たち

プレゼントした
下着似合ってるよ♡

……

へへへ
声出さないよう
にしているんだな？

怪しい気配は感じないけど
すぐに信用するのは
危険かもしれない

フアサ！

ピクッ

ザ

もじ もじ

でも
ひとまず栗花落さんが
無事に見つかってよかった

俺もちよつと焦りすぎな
とこあったよなア：
よしここからは――

ニャー

あ♡♡





切ない顔でおねだり
されると滾って
しまうなあ

よし
この小さなお口で
上手におしゃぶり
できたら

厠に連れて
ってやる



ドキ

ドキ

ドキ

ドキ

過疎村まで暫く
かかるからの
やせ我慢は
もたんぞオ

それともあの
坊主が見てる前で

カナヲちゃんの
恥ずかしい姿
さらけ出すか？

ズズズズ...

ドキ

ドキ

ドキ

ほーら
入った♡

ドキッ

違う…

フフ..

今朝…
彼の首元を見たとき

わ。。。。。
わたしと同じ刻印が
あった

おそろく…毒
もしくは何らかの攻撃手段を
伴う血鬼術の印字

栗花落さん
……っ！

大丈夫!?

ツツ

：今ここでこの鬼たちを
斬ることはできるのかもしれない

でも…

それだけでは術の作用を
止められないとしたら…

私はともかくとして
彼の身体は...

はっ

ん〜？
カナヲちゃん
何か考え事を
しとるなア？

にゅるん♡

おしゃぶりの時は
集中しろと昨晚
みっちり教えた
はずだぞオ

鼻でゆっくり
呼吸して〜
集中♡集中♡

おっお♡

指太…♡

スー…

スー…

…ッ!! じゃなくて
敵の狙いと攻撃のせいしつを
つきとめるまでは…



よお〜し
いいぞ

おおお♡吸いつく
吸いつく♡♡

ずるるっ



カナヲちゃんの
そういう真面目な
ところごくエッチ
でいいよ

おチンポが抜ける
時は最後まで
しっかり吸いつく
教えた通りだ

ちゅ..ぽ♡

〽〽〽〽〽

次はカナヲちゃん
の番だ

さわってみいほれ
カチカチだ♡

ハッ…

ハッ…

ドキ

ドキ

ドキ

厠に行きたいんだろ？
鬼殺隊の剣士が
鬼の造ったオモチャで
いつまでも気持ちよく
なっっちゃイカンぞ

ああ？

ん…♡

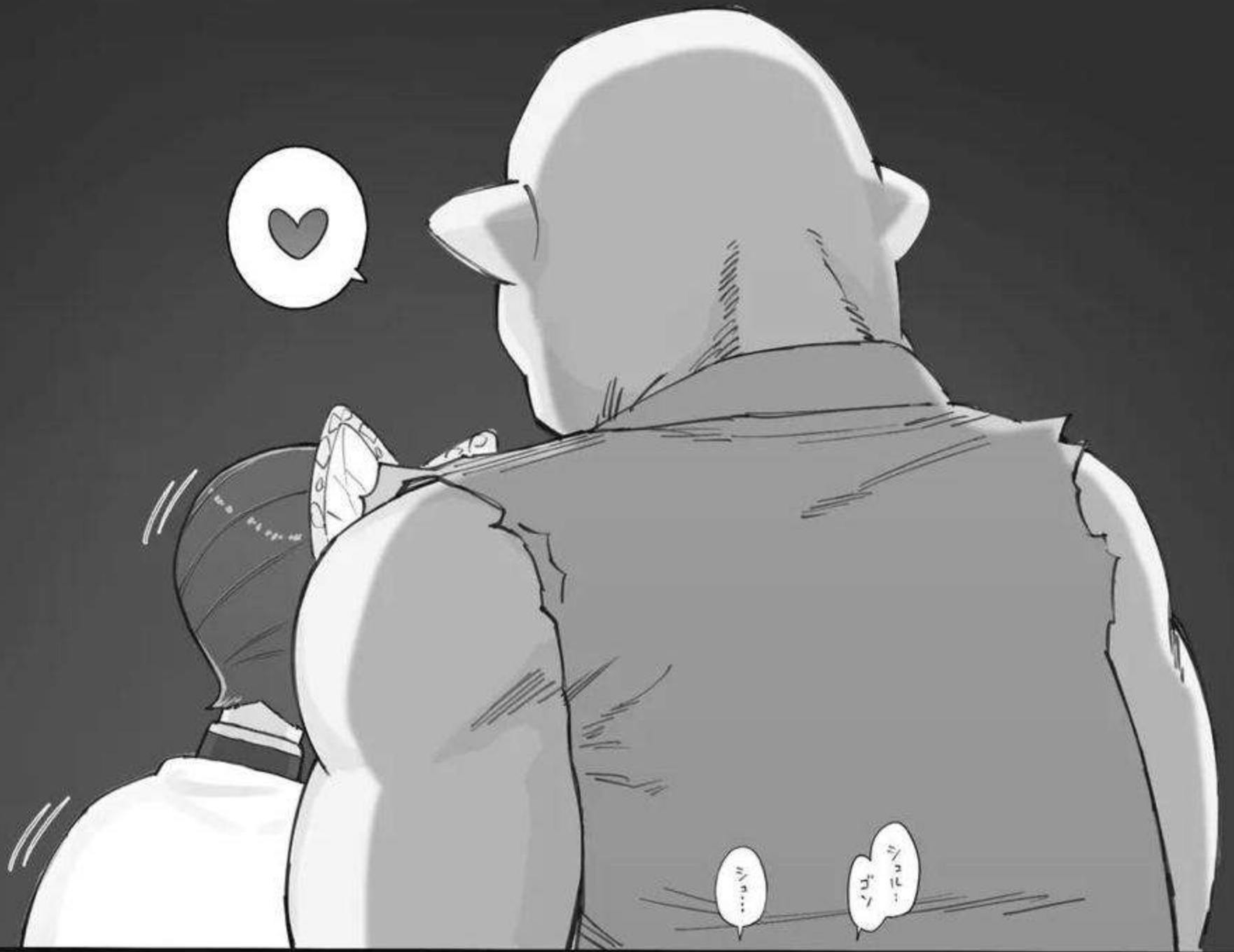
ドキ

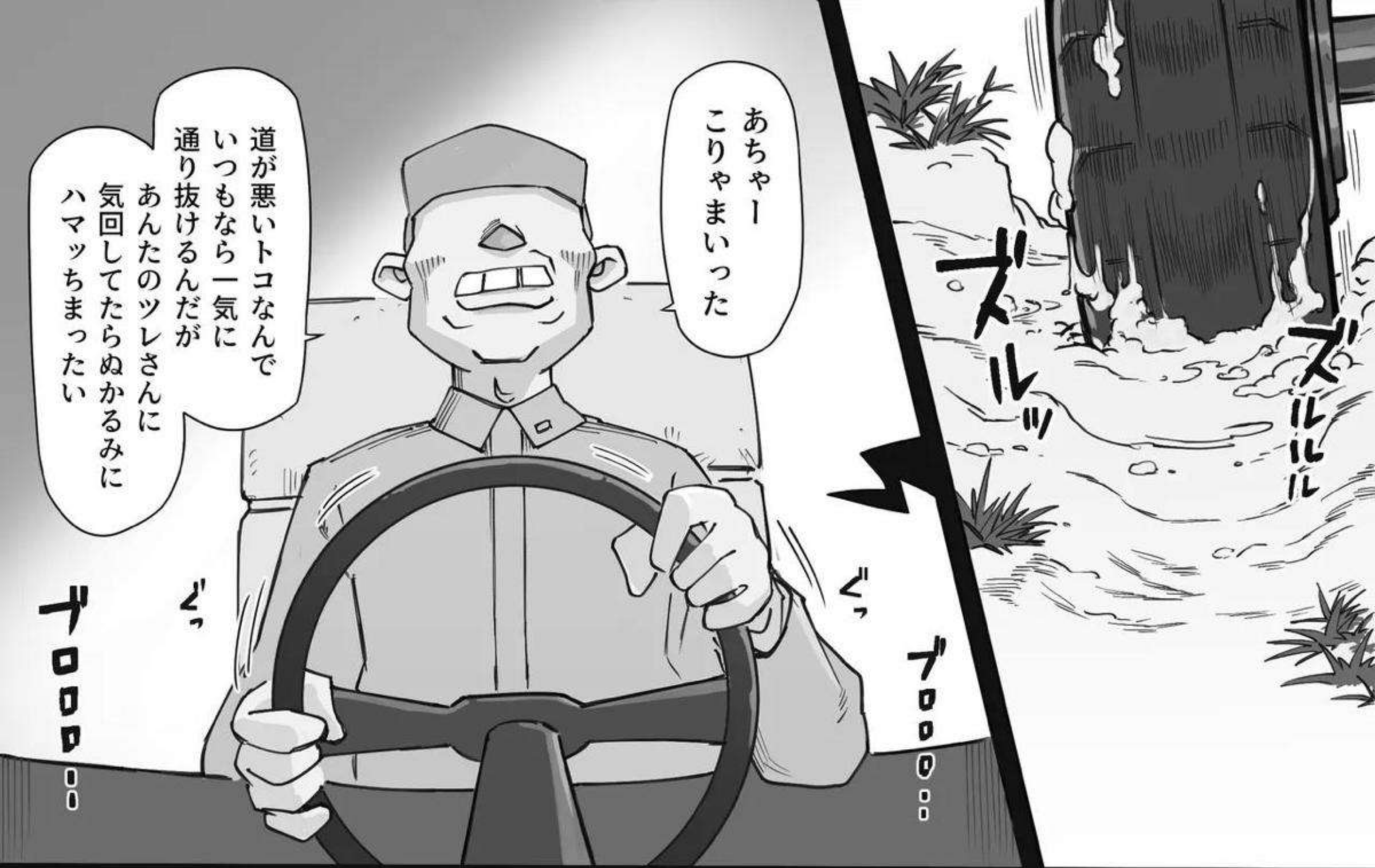
ドキ

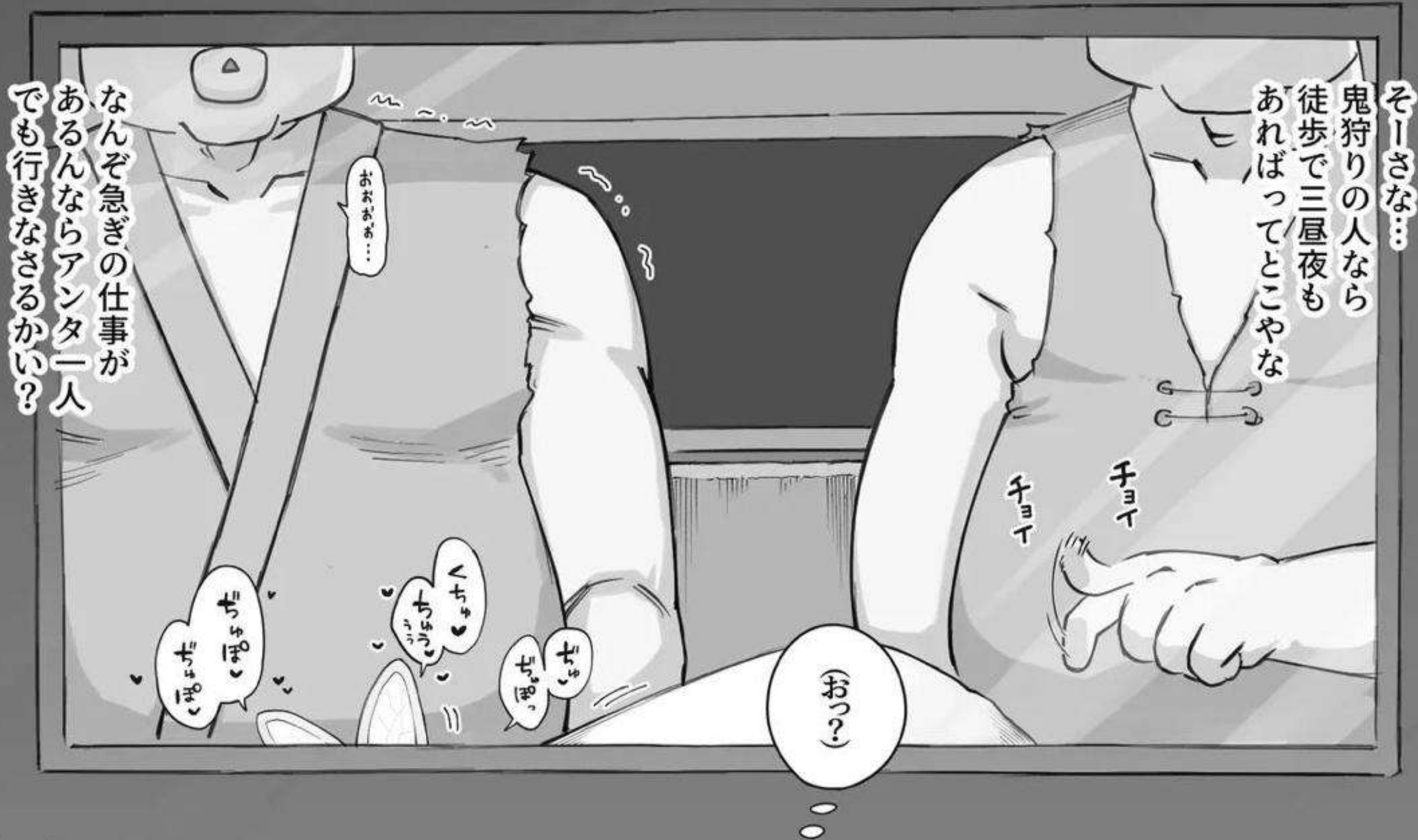
ドキ

ンニ

ンニ







わ…わかりました…

うわー…
ここから見ても
地面のぬかるみに
ハマり込んでるのが分かる…

ああ？アンの連れの
女が原因だろうか？

それはっ…すみません…
あの土を掘るための道具
が何かありませんか？

あいにくそんな
モンはねーなア

そうですか…

ブロロロ

ブロロロ…

くそっ…落ち着け…
不測の事態が続いてる今
すぐにでも支援の要請を
出したいけれど

目印のないこの薄暗い林道では
鋌烏(かすがいカラス)も
うまく機能しない

まずは過疎村に辿り着くこと
それが任務の本線だ――

駅車が動けば明日中にも村に着くはずだ
村に着いたらカラスを使って
本隊と連絡をとる

よし…
整理したら少し落ち着いてきたぞ――

ドクン…

ドクン…

ドクン…

ドクン…

あちこち傷やへこみがあるけど
すごく頑強な造りの車だ

それにしてもこれ…
俺一人でどうにかなる
感じじゃないなあ…
工作班の人達なら
こういう時うまく
やるんだろうけど…

うわぁ…

これは流石に…

…？

…布のこすれる音？

何か話してるんだろうか…？
そういえば車内にいる時は
仕切りの壁が厚いせいか
声はよく聞こえなかった

スル…

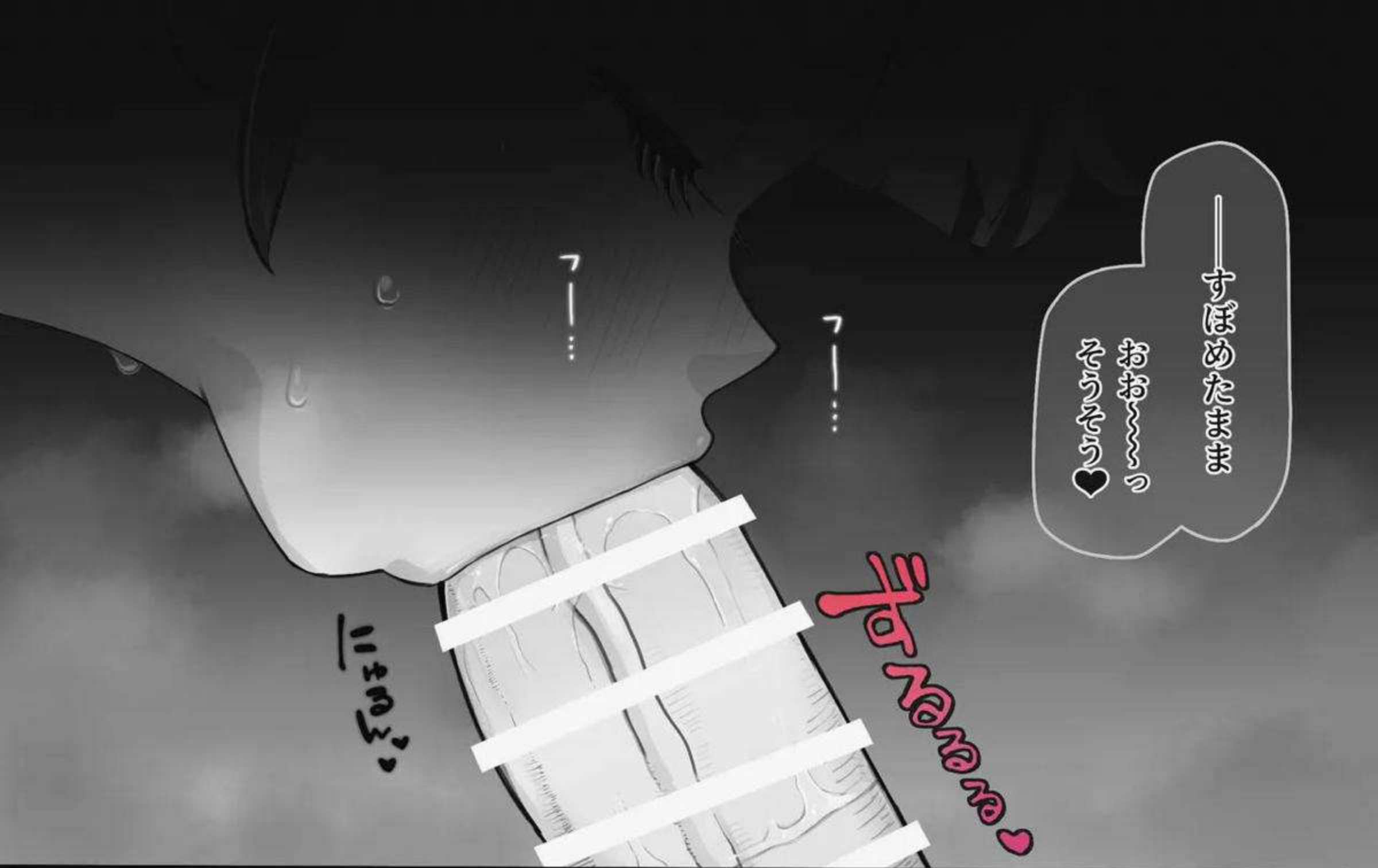
シュル…

いや今はそれより
この状況を解決する
ことを考えよう





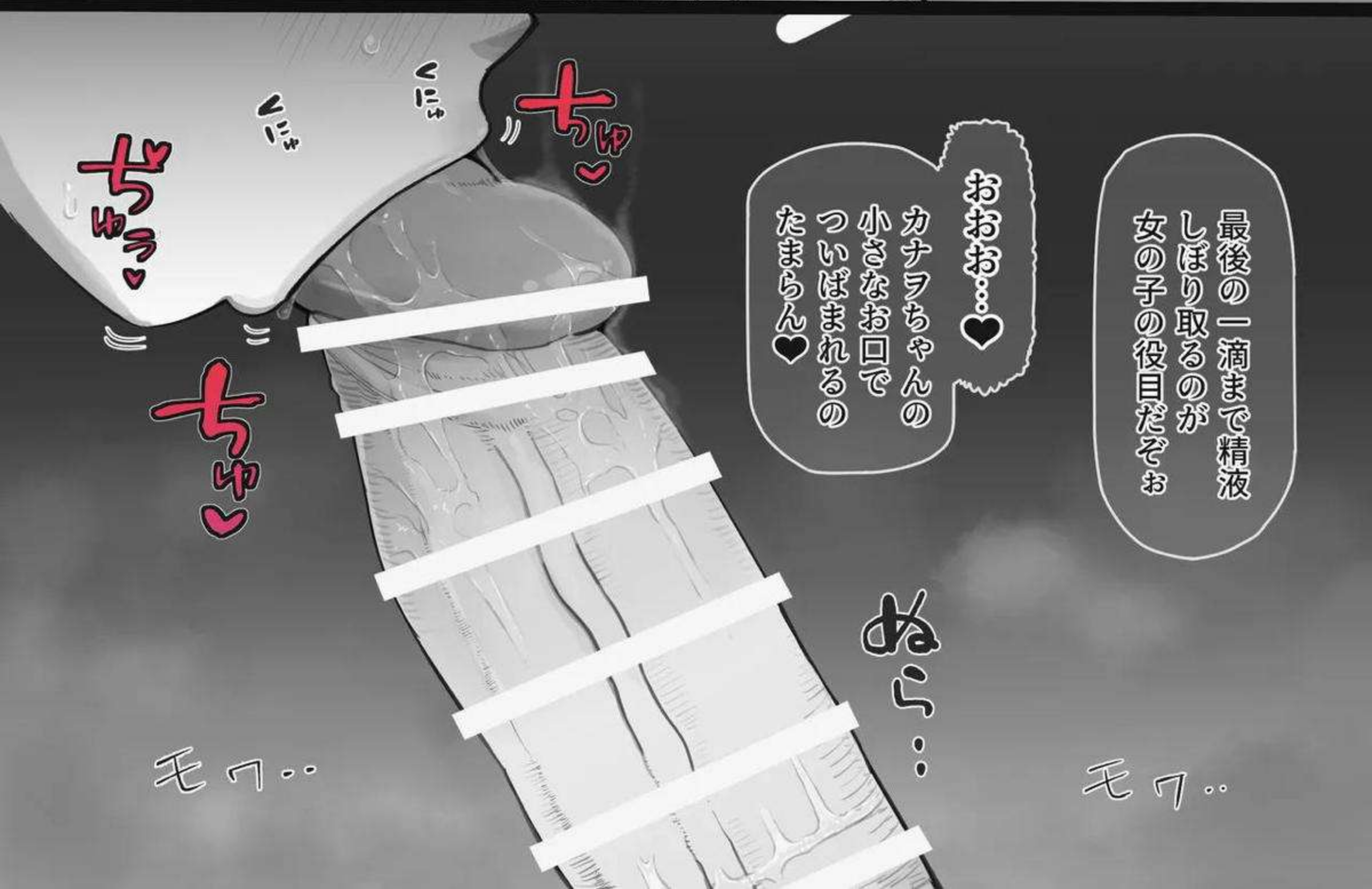




すぼめたまま
おお~~~~
そっそっ♡

ずるるる♡

いんち



最後の一滴まで精液
しぼり取るのが
女の子の役目だぞお

おおお…♡
カナヲちゃんの
小さなお口で
いっぱいまれるの
たまらん♡

ぬる…

モワ..

モワ..

ちゅ♡

ちゅ♡

いんち

いんち

ちゅ♡



フ~~~~ッ
わしのデカイ金玉を
空にしおったわい

鬼狩りの女共は
口淫の訓練でも
しとるのか?
鬼に負かされた時
ご機嫌取る為にの

ハハハハ

フッ:

す
ほ
ち
ゃ
ん
♡



なんだ
外にいる小僧のこと
気にしとるのか?

心配せんでいい
今すぐにどうこう
する気はないでの

ほらカナヲちゃん
休んでないでこっち♡

……ト



さつき搾って
もらったのに
カナヲちゃんの
可愛いお尻
見てたら

ホラ♡

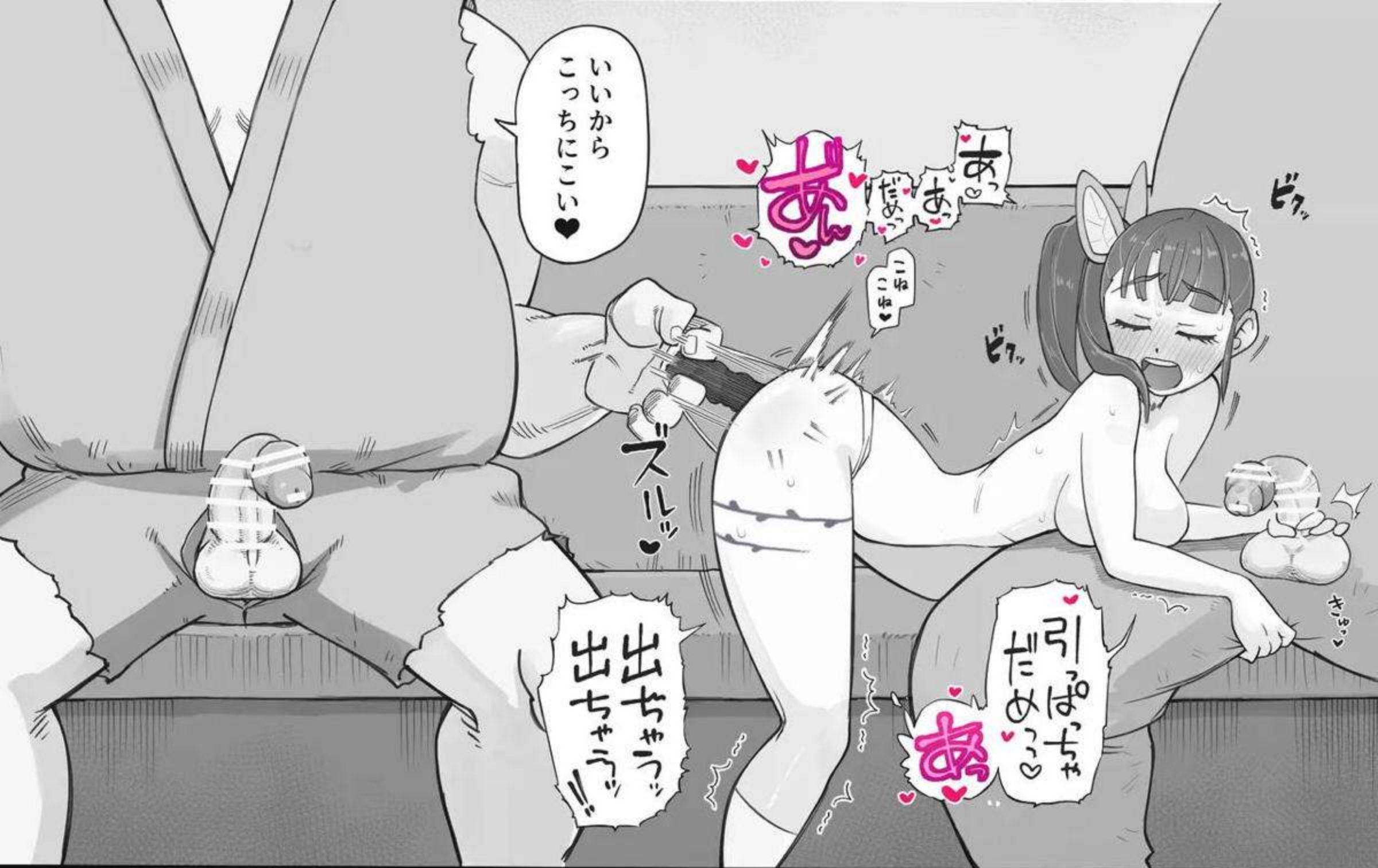


少し休ませて
ください…
その…くちを開け
るのがつらくて…

それに…その…
「アレ」が…
身体の中を這い
上がってくるように
動いて…

ハア…

ハア…





へへへへ
花の呼吸♡
花の呼吸♡

ほれワシらが支えて
やるから身体を楽に
して力を抜けい
深呼吸じゃ♡
ス〜〜ハ〜〜

はー

はー

はー

はー

ズ

ギョウ



おい
見てみる

昨晚打ち込んだ特製薬が
斑紋となつて肌の上に
滲んできておるわ

鬼狩りの中でも随一の
女剣士という情報だったが
クククク：

ワシらを村民と見誤り
二重幻淫を食らつた
時点で詰んでおるのよ

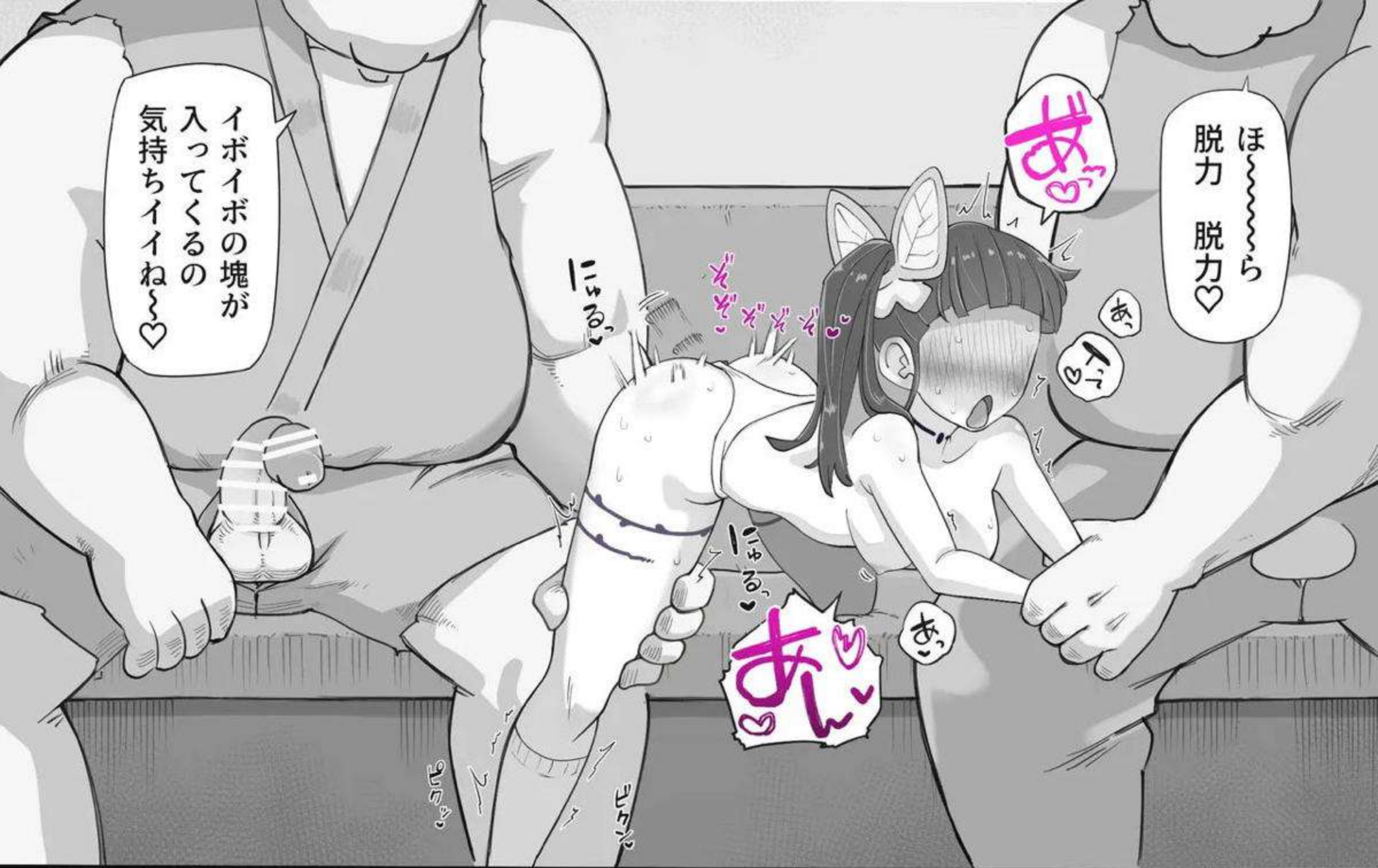
いやまでこの娘…
毒の作用を遅らせる
ために呼吸とやらの
作用を使つておる
ようだぞ

はー

はー

はー

ワ







伝令文 略式才壱号

西方辺境の山影の村にて
鬼の出没報あり

詳細不明につき
丁(ヒノト)隊士他一名を派遣し
現地調査にあたれ

装備は限りとし
機動を優先のこと

天候・地形に留意の上
状況に応じて
即時の討伐も可とする

【秘】鬼殺隊本部 課長

おおおおお
イイよそれ
カナヲちゃん♡

押し込む度に
ひり出てきとるぞ!!
ああ?この節操無しが!!



蚊疎村の任務

《前編》

終

謝辞・奥付

ご購入いただきありがとうございます。

たぶん次回から一般的なコマ割りにすると思います…。今回初DL同人になります
3年くらい前にPixivで無料公開していた漫画の続きを書いてくつけたものが本作です
いとき漫画を描くことをしていなかったのですが、絵の練習はしていたため雰囲気は違うと
感じられましたらそういう理由です。3年前に漫画を描いていた頃に、同じくPixivで
えち漫画を無料公開されていたとある作家さんが好きで、その方が上下2分割の
シンプルなコマ割りだったのですが、なんとなくそれを真似して描いていました
続きを描くにあたって 前回描いたものを見ながらなんとなく同じようなコマで
ネームを描いていたところそのままゴールした感じです。これはこれで味があって
好きなのですが適宜取り入れつつ次回からは一般的なコマ割りにしようと思っています。

鬼滅のえち漫画はなぜかしのぶさんが多い気がしますね。私は断然カナヲが好きです…!
次回 蚊疎村の後編では今回冒頭に出てきた謎の少女も登場させて
話の内容やえちシーンを色濃くしていきたいと思っています。

そういえば…。ページ数はそれなりにありながら未だに結合シーンを描いていない…。
個人的な嗜好で シーンを直接描かないことや読み手として見れない(見せない?)ことで
あらぬ想像が膨らんでしまう形態が好きで そういう事をやりたいなあと思いつきながら
描き始めた経緯があります

話の設定上カナヲがまだ手を付けられていない理由もあるのですが
えちシーンについてもより凄惨に色濃くしていきたいと思っています。

蚊疎村の任務 -前編-

2025年4月25日

発行
連絡先

Valletta
vvv999ops@gmail.com

DO NOT REPOST
DO NOT USE MY ARTWORK TO TRAIN AI
無断転載禁止  AI学習使用禁止